京城日報
(年中無休刊)
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

十月八日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

寛城子 正式回答期

政府重要訓令を張氏に致す

張作霖氏の態度强硬なる爲め一時中止の姿なりし寛城子問題に關する交渉は其後小幡公使並に赤塚總領事の張氏に對する解決促進の爲め北京政府は更に重要なる訓令を張氏に致したる由なれば張氏も愈々政府並に日本の要求を諒とし八日頃迄には正式回答を總領事館に爲す筈なるがこれにて奉天の交渉は一段落を告げ更に細部に亘りては吉林長春に於て交渉開始さるべし(奉天特電)

支那 對露條約交渉

北京政府は劉鏡人氏をして哈爾賓に於てオムスク政府當局者と左の條約締結を交渉せしむるに決定せり
一、支那が現今に至る迄購入せる露國汽船に對する代金は中國輪船公司より支拂ふこと
一、支那艦隊は黑龍江及松花江に於て露國艦隊と同等の權利を享受する事
一、支那砲艦は支那居留民保護の爲め隨時に黑龍江上下流域を航行するを得る事
尚該交渉は多分來る二十日頃開始せらるべしと(北京電報)

南方代表人選難

結局武斷派に依りて局部和議か

唐紹儀氏の辭任は軍政府をして少からず狼狽せしめ軍政府よりの慰留電報頻りに發せられつゝあるも唐氏は之れに對し極めて冷靜の態度を持しつゝあり唐氏が飽くまで辭任を固持して聽かずんば次いで繼任總代表問題起るべし而して其の人選難は北方の元朱總代表後任難よりも一層困難なるべく人選難は南方の分裂を釀成し次で武斷派の活動となり遂に武斷派に依りて局部和議を結ぶに至るべし(北京電報)

四國大使昇格提議

外交界の消息に據れば英佛米伊の四箇國は各駐支公使を大使に昇格すべく支那政府に提議したるが支那政府は之れに就き考慮中なりと(北京電報)

ス氏晋京用件

西伯利鐵道委員長スチーブンス氏は東淸鐵道に關する問題に就き北京政府及び外交團と協議すべく七日午後八時半奉天少憩の上九時半發京奉線列車にて晋京せり(奉天特電)

鮑督軍來奉期

鮑吉林督軍は張作霖氏の招致あるのみならず東淸鐵道警備處其他諸問題に就き協議を要すべき事項あるを以て十一日來奉すべしと(奉天特電)

物價對策決定か

社會政策的經濟的施設

第二第三の金利引上をも辭せず

物價調節問題に就ては政府は七日の閣議にて愈々大體の方針決定せるが如く既に日銀金利引上げを斷行し通貨收縮を期待せる今後尚其目的を達する能はざる時は更に第二第三の金利引上げをも辭せざる可し尙其他の對策としては大體社會政策的施設經濟的施設の二種に區分し急速之れが實施に着手することゝなれり右の內社會政策としては住宅問題の解決、公設市場の增設、購買組合の奬勵等に關するものにて經濟的施設としては差當り必需品の輸出制限等に關する施設以外前記金利引上げ其他金融上の調節を意味せるものなりと(東京特電)

米麥輸入稅 免除可決

七日の閣議にて米及び麥輸入稅免除の件大麥小麥粉輸入稅減免に關する件中改正の件其他可決決定せり(東京特電)

東京金融逼迫 資金需要旺盛

前週末に於ける東京組合銀行の帳尻は十六億零四百五十九萬圓にして之を前々週末に比し五千二百二十萬圓の減少となり又貸出高は十五億三千二百四十萬圓を示し一千八百十萬圓の減金銀有高は一億零六百萬圓を算し七百五十萬圓を增せり預金の減少は三菱銀行の二千九百萬圓を筆頭にその他の減少少からざるがコハ會社の新設及び增資による拂込資金の需要に充當せられしものなるべく貸出しの減少並に金銀有高の增加は月初幾分逼迫の度を減じ地方資金の回收ありしためならん倚ほコールは日歩二錢三厘を唱へ資金は依然不足の狀態を持續せり(東京電報)

通貨縮小す

一時十一億五千萬圓を突破したる日本銀行兌換券の發行高は六日帳尻に於て左の如く十一億零五百萬圓に減じたり(東京特電)

發行高	一一,〇五〇,九四
正貨準備	七,九二五,八一
限外發行	一,九二〇,五,一三
貸出高	三,七八三,六七

佛大使通過

駐日佛國大使バテスト氏は七日夕奉天通過の豫定なりしも都合に依り八日朝來奉九時半發安奉線列車にて朝鮮經由東上すべしと(奉天特電)

福原上院議員

大連滯在中なりし福原貴族院議員は七日午後九時來奉同十時發列車にて京城に向へり(奉天特電)

總督大使招待

齋藤總督は九日入城すべき東京駐劄佛國大使バプスト氏同令孃等一行並に佛國領事ガロア氏同夫人同國僧正ユーテル諸氏を招待し十日午後六時三十分より晚餐會を催す由なるが當日は總督夫人、水野政務總監同夫人、松永外事課長同夫人等列席すべし

旱害資金

殖銀の方針 中村理事談

殖産銀行にては旱害に對し夙に相當計畫を樹つる必要ありと認め西鮮地方には一二箇月以前より行員を派遣し又各支店にても調査を進め一方總督府方針の決定を待ちつゝありしが最近當局の方針も大體の決定を見たる如く予も昨日當局部を訪ひ今後の施設につき打合せをなし居れり從つて政府の執るべき對策の實行に伴ひ殖銀も亦相當の力を盡す事こならん唯殖銀は金融業者につき各種資金の供給に當るのみにてその救濟の實行には素より關係せず資金の供給は(一)地方府民に職を與ふべき各種工事の所要資金(二)金肥購入資金(三)耕作上の資金等に大別するを得べし唯銀行として直接窮民個人に貸出しをなす事は不可能につき對手者は地主の團體若くば府面等の方面に俟つ外なからん而して必ずしも擔保を徵せず期限は三箇年內外の年賦償還の方法によらしめ利率は及ぶ限り低利になす考へなれど先づ最低八分こ當所なるべし次に夙くも旱害對應資金の申込みあれど旱害資金の如き特定のものは少くも秋收後に必要あるべきものこ考ふるを妥當とするにつき未だ放出をなさず何れ前述の如く政府の施設具體化すべきを以て結局の實行は十一月に入るべく乎尙ほ旱害資金の名目に於て借入れを受け他の方面に流用する如きも官憲の力に俟たざるべからず更に資金の貸出高は存外巨額を要する如けれど事實當つて見れば思つた程の所要なきやも知れず

西伯利問題と日米

＝米國提議無根＝

西伯利鐵道守備問題に關し最近西伯利駐屯日米兩國軍隊間に紛擾を生じたる結果米國は該鐵道の管理權を放棄すべき旨關係國政府に通牒すると同時に日本に對しては西伯利撤兵を提議し來れりこの說に就いては我外務當局は之を否認し米國は西伯利撤兵に關し聯合與國に對し何等通告し來りたる事無しと云へり

交渉眞相 西伯利鐵道の守備並に運輸に就ては日本は米國と共に共同管理の衝に當れる關係上日米兩國間には絕ず交渉あるは勿論にして時に多少の意見の相違を來す事あり例へば曾て西伯利鐵道に關係せる日米當局の權限問題に付相互見解を異にせし結果交渉を重ねたる事あり又カルミコフ軍檢查問題ありセミヨノフ、カルミコフ一派に對し日本軍が援助を與ふるに對し米國軍隊に反對論ありたるに基因せしもののなるが之等は孰れも既に圓滿なる解決の問題こしては一も殘存するものなし要するに此の種些少の意見の相違は萬已むを得ずこして大體に於ては西伯利に於ける日米兩當局及軍隊は其の協議を支持する上に於て最近何等紛擾を釀成せる事なしと云ふ

米と西鐵 西伯利問題に關する日米外交關係に何等變調を來さゞること右の如くなるが其筋側の觀測に依れば華盛頓政府の意嚮も當分米兵を西伯利より撤兵せんとする意嚮も無きが如く過般來西伯利駐屯軍の爲め米本國に於て新兵一萬人を募集中なりと報ある外駐屯兵數を減少するが如き模樣なく米本國に於る一部の反對論あるにも拘らず華盛頓政府は依然オムスク政府後援の方針にして從つて米國が北滿西伯利統一の助上絕對に必要なる西伯利鐵道の管理權を放棄するが如き事は斷じて之無しこ見るを至當こすべし

米露關係 尤も先頃中オムスク政府に對して不利の狀況にあり當時にありては米國の輿論はオムスク政府援助中止に著しく傾きし事ありしも其後オムスク政府軍はイッシンに於て過激派軍を喰止め爾來形勢が好轉せるのみならずオムスク政府に對する一大脅威たりし自治會運動に關みコルチャック執政官は最近オムスク政府自ら人民議會を召集し以て自治會の反對運動を緩和せんこ畫策しつゝあり但し人民議會召集運動は未だ功を收むるに至らざるもオムスク政府最近の成功は同政府の勢力を增し延いて米本國に於る西伯利問題に關する日米及び米國とオムスク政府間の外交關係は最近何等變化せし事なく又近き將來に於て之等諸國間に外交關係の變化を見るが如き事無かるべしこなす(東京)

議會通過を俟ち明年四月より實行

亞煙草會社を初め鮮內各製煙業者を買收すべきが其評價は(一)土地家屋工場諸機械はこれを時價に見積り(二)手持ち原料煙草は相當の價格に依り(三)各製煙業者は過去數箇年の營業狀態その他を精細に調査して適當の賠償金を支出する事となるべく右に要する經費一千數百萬圓は事業公債の發行によるべし尙ほ専賣の實施を見れば當然總督府は年額二百三四十萬圓の煙草消費稅を失ふ事となるも専賣の歲入は公債利子を仕拂ふも倚ほ差引百餘萬圓の增收を得る計算なるに似たり

旱害と道路工事

救濟上の一擧兩得策

西北鮮地方の旱害救濟方針に就きては屢に其概要を發表した通りで其救濟には地主及び地方有力者の援助的救濟に依る者と地方工事の勞働に從事せしめ仕事を授け救濟する者と副業を奬勵し自ら救濟せしむる者と全く以上の方法なき鰥寡孤獨者の國庫より救濟さるる者との四種になるが今第二者に就いて概要の御話をしよう、即ち今回災害の激甚なる黃海平安南北道の京義沿線地方は幸ひに將來爲すべき道路工事を持つて居る處から此救濟者の仕事に向くる方針を取るのである、右道路は一二等の兩種なるが開城迄は既に竣成して居れるも今後なすべきは開城海州間の一等道路海州南川間雲山昌城間及び鎭城朔州間の二等道路であつて恰も其地方の旱害地である事は誠に天祐的に好都合な話である、其工事費は本年間に五十萬圓來年度に七十五萬圓合計百二十五萬圓で其實行法は從來中央土木局で設計實査の上處し來つて居るが今回は一切を出張所長に一任し其工事には現金前渡し官吏を置き敏速に進捗さす方針を取り既に起工した地方もある、賃金は日給約六七十錢であつて罹災者の總數は**四十餘萬**を算すべきが實際に於てこれ丈此種の勞働に從事し救濟さるゝやは未定なれご確に以上の方法に依つて大部分の救濟を爲し得る事を信じて居る(殖產當局者談)

煙草專賣內定

明年九月より實施乎

朝鮮に於ける煙草專賣は總督府の既定計畫なるが當局にては大正九年度より實施する事に略內定せりこ推すべき根據あり四日府議の決定を見たる來年度豫算にはその所要經費計上されありこ聞く唯民心動搖の際こて多衆の生活に變革を與ふる煙草の專賣は必ずしも急要ならずこの意見も有力なれご財政計畫の關係こ社會政策的見地よりして結局專賣の實行は特種の事情を生ぜざる限り避け難きにあてその實施は所要經費の計上せらるゝ明年九月よりにはあらずやこ觀測せらる唯煙草專賣こ云ふも朝鮮の新制は內地の夫れこ大いに趣きを異にし居れり即ち內地に於ては絕對に自家用耕作を認めざるも朝鮮は民度風俗を參酌し一戶三十坪限り之れを認容する由につき制度こして徹底し居らず寧ろ完全なる專賣制に到達する一の準備と見るも亦可なる如し而して

市中金融平調

割合に落著

京城市中各銀行にては年末決濟資金並に出廻季資金の需要を見越し成るべく手許の餘力を保有するに努め居れる如きが然も一般商人の思惑は緩和しこ市場の人氣も綿布商救濟の一段落に餘裕を生じ落ち著くに至りしを以て銀行の資金貸出方針は必ずしも嚴ならず金融は警戒裡にも平調狀態を持續し居れる如し唯金利は內地の硬調に連れ何れかこ云へば强含みなる如し

仁川期米軟弱

八日前場の仁川期米は前日の活躍せし反動に加へ大阪前日後場期米の安さ天候の齊朗にて軟調を呈し附四十一圓五十錢高値四十二圓零錢安値四十一圓四十三錢止め四十一圓八十錢なりき

下旬鮮鐵成績

九月下旬に於ける鐵道營業狀況を聞くに朝鮮線內に於ける旅客の乘降貨物の輸送は本期に入り稍々好況を呈し來り漸次發送貨物の增加を見つゝあり

赤十字朝鮮職員

日本赤十字社朝鮮本部職員として總裁殿下より新に囑託せられたる者左の如し

朝鮮本部副總長 大塚常三郞
同 赤池濃
同幹事 青木戒三
同 西村保吉
同評議員 和田一郞
同 河内山樂三
同 子爵 松平直平
同 柴田善三郞

遞信手檢閱

龍山騎兵營遞信手檢閱は十三日午前九時より本洞里に於て學科手旗單旗の檢閱を實施したる後午後一時より鷺梁津德島山十五基の間に於て火光器送受信を行ひ更に午後二時より三時迄本洞里永登浦間約四十基の間電線架設を行ひ三時三十分より撤收すべしと

殖銀の拂込

殖産銀行にては第三回拂込み一株につき十圓を十月三十日より十一月四日までに徵する事となれるが市場には第四回拂込み年內に續行さるゝやう傳ふるものあれど銀行當局者は否認せり

商議々案減少

全鮮商業會議所提出議案は當初總數四十九件の多きに上りたるも七日の書記長會議に於て共通類似議案の配合及び地方問題に偏倚せる分は之を削除したるを以て其結果二十九件に減少せりと

聯合會出席者

十三日より開會さるべき聯合會に出席すべき者は左の如し

有蓋貨車竣成

京管局草梁分工場にて製作中の大型有蓋貨車三十輛の內車輛番號八一八及び八一九四輛ボーギ式廿六噸積二輛は去る六日落成試運轉を行ひ成績良好なるを以て近く使用向に廻送されたるが右二輛を合せ既成輛數十輛こなれり

潜水艦講演

八日午前十時三十分より總督府第二會議室に於て目下仁川入港中の潜水艦司令本內達藏少佐の潜水艦に關する講演あり水野總監各部局長各課長其他總督府職員多數の聽講ありたり

全鮮記者大會

全鮮地方新聞代表者は十日午前十時より朝鮮ホテルに於て會合を爲すに付き京城記者團之に參加して全鮮記者大會を催すべし

總督邸茶話會

右大會に出席せる記者は十一日午後二時總督邸に招かれ茶話會を催さるべし

財界閑話

殖產銀行では行務の繁忙につき人員の增加を要すとあり此頃東京大阪の新聞に募集廣告を出した△東京の支店には三四十名も應募者があつたさうな有資格者もその割に從殺されてゐるらしい△殖銀は支店並に派出所合計五十餘こ云ふ日本第一の多數の營業所を有する銀行だから一營業所に二人宛を殖しても百餘名の行員を要する△目下の所百四五十人位の增員が必要こするさうだが好い人物が少ないこ同行の某重役は云つてゐる△銀行員と云へば第一銀行支店でも本町に支店を設けて行員の不足で困つてゐる、その他の銀行も不足で困つてゐる所が多い△手不足こ云ふ事は官廳も銀行も會社も商店も此頃通じた現象らしい然しドコも格好な人物が得られず困つてゐるやうだ

京城商業會議所は聯合會に大評議員を出し會頭及び書記長出席せず佐藤副會頭及び書記出席すべし

人事消息

△林里次氏(軍務部長) 十日發奉川大邱馬山釜山地方に出張
△中村光吉氏(殖銀理事) 病氣引籠り中の所八日より出勤
△ロッキー氏(京城駐在露總領事) 八日午前七時五十分南大門驛發列車にて東上

其の日その日

◇西伯利に於ける日本人の活動は、云へば甚だ劣勢に聞ゆるも、露國側事業家等をして、愛慮こ悲觀を感ぜしめつゝあるは、洵に情けなき有樣也。而して斯る結果を見るは、日本の資本家事業家が、餘りに官僚主義に墮まり居れるが故也。換言せば日本の其等の人々は、仕事に對して餘りに悠長なるが故也。其の一例を示せば、或一事業ありこせよ、彼等は先づ再三再四調査を重ね、長時日を調査に費し、而も其報告を遂らしめ、再調に再調を重ね、漸く決心して事業の交渉に着手す、洵に悠々閑々たるものあり、外國人の如きは、全く其反對にして、少しにても有望なる事業あらば、直ちに自身現場に臨み直接交渉してきはきこ談判を進むるより、行く處好感を以て迎へられざるはなし。之れ某外人の評言也、洵に玩味すべきなり。

◇曾て英國議會にて、バルラオーア、コースト、ウルフ、チヤーチル等の四君、各自獨立の政重こ、他より一人にても攻擊さる、場合は、相援くべき關係なる規約を設けて世に所謂四人組を作れり、而して其議場に臨むや、當時頗る重きを爲せり。是れ眞のデモクラシーの精神に依り議員の閱歷は量より質を尙ぶ。全國に嬉まつて偉大なる地盤を作成したる政友會が、果して如何なる活躍をなさんこするか、將來如何、洵に興味ある問題こして、吾人は注意を怠らざるべし。

◇政友會こ言へば、我黨天下を風靡して、勝ち誇りたるの概ある時、突如親補氏は其本部を襲ひて、一舌忽ち烏有に歸せしむ。吉か凶か、天佑を謳せん哉。

◇滿鮮倶野球軍內地に遠征して東都の運動界爲に活氣を呈す。盛んなる哉。野球こ云へば、米國ビッグリーグの世界選手爭奪野球戰は、近く開始せらるべしこ、今日迄の試合に於て、ボストンアメリカンのルーズ君、ホームランを毫飛ばす事實に二十六本千八百九十九年のバック、フリーマンの作りたる記錄を見るに敗れり。而も彼は六月頃よりレギュラアミして、外野に出し許の由。世界選手爭奪戰、其激烈察するに足らむ聞くだに腕鳴るみ說あり。

急告く急告
毛布 暴落 買時
本毛製特別大判 金三圓廿五錢(茶、紺色)
軍隊用と亞弗利加輸出の爲に肆じ高價でとても買付けられぬ毛布も休戰以來の大々的下落は遂に破產者續出の悲惨を來し是等を救助すべく今日迄の持越品一手に引受何らゆる物の高い際に非營利的なればこそ此の毛布の代金にて急賣す(優良無比新製品)旅行家は勿論軍隊用として誰れでも無くてならぬ必要品ハガキで申込次第代金引換小包郵便で御自宅迄送付す代金は其節御支拂下されたし商人の方は御知己に御吹聽を乞ふ
東京神田株式會社東京毛織仲買店

小男も大男となる

伸長器の發明 無料貸與 背が低い 女が分からない身長器は全身の骨を伸長せしめ背の高くなる器械を無料で貸與し 希望者へ御自宅で申込めばハガキで申込めば詳細を通知す
東京府下 ... 器械貸與法所

意外 新事業發見
〇裸一つ無資力でも成功できる

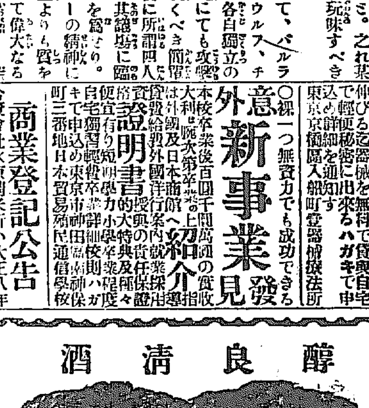
說明書紹介
本校卒業後百圓千圓萬圓の貿收大利益を收め日本商館へ就職並に外國洋行案內 ... 詳細校則ハ郵券自宅獨習輕便ニ東京市神田區日本貿易殖民通信學校

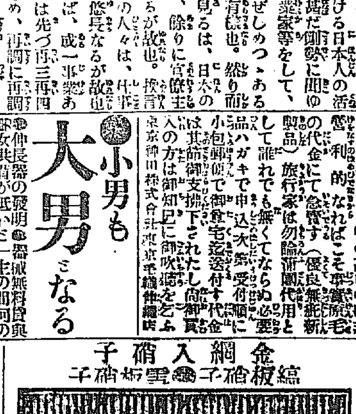
商業登記公告
合資會社水原精米所ハ大正八年九月貳拾貳日解散シタリ
大正八年拾月六日登記
京城地方法院水原支廳

仁川本町 白神洋行
京城府大和町 白神洋行支店
金物商
洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切
月刊物價表 御申越次第進呈

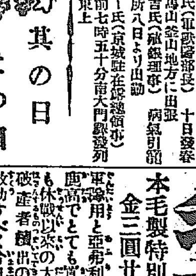
技術員募集
當所々屬直營治道工事に從事すべき內鮮人現場係人若干名募集す希望者は履歷書携帶當所に出頭せらるべし
朝鮮總督府土木部 平壤出張所

急告
京 最上印醬油
壹斗樽 貳千樽限り
右特價購買多にて御購入の方々に限り値上不致候間賣り切れぬ內に早く注文被下度候
永登浦 大塚醬油釀造所 電話 振替

醇良清酒

鮮滿到る處に販賣す
醸造元 齊藤酒造合名會社

金網入硝子
網入硝子 型板硝子 雲板硝子


廣告 (一)支那公債 (二)左記の事業 ... 日本興業公債 株式會社 朝鮮支店

製繩機

有給代理店募集
現品 稻扱機 特價提供
大阪市外中津町 日本農機製作所

京城自動車講習所新設
京城黃金町
校外生は入學隨意

國境横斷旅行（三）

鍾城から惠山鎭へ

茂山の一名物は 石ツコロの屋根

市街に井戸が無い

城川江が氾濫すれば井戸が流れたり埋められたりする

茂山にて　特派員　伊藤韓堂

城川江の波に碎くる月影と、突兀朦朧として脚下に浮び出でた茂山の夜景とは

初參の記者が 三笠山から眺めた

の景觀で、其の形容の出來ぬ美しさは未だ曾て忘れ得ぬ印象の一ツとなつて居る。而も翌朝市街を見物して見ると、昨夜のそれらしい影もなく、流石は六鎭の一として築かれた城だけに立派なものだと思つて居た樓門も、柱は朽ち緣は壞れ雜草離々として茂つて居る。僅う光る甍だと思つたのは實は此の茂山の名物石ツコロ屋根であつた。日本家も朝鮮家も悉く屋根は

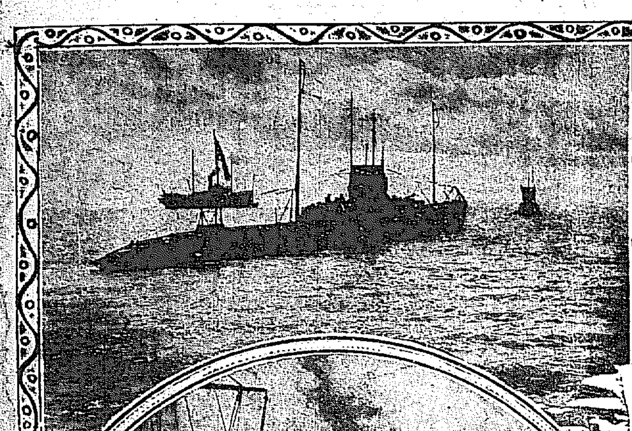
樺の皮で葺き 風で飛ばされない

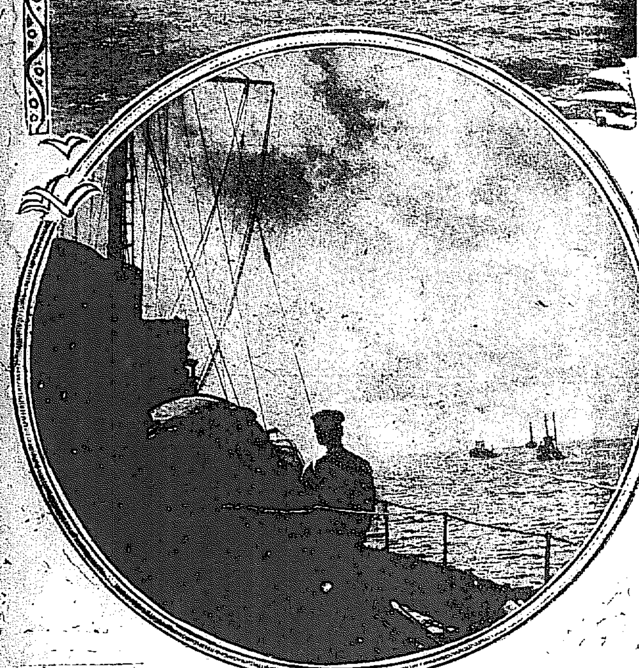
やうに一貫目から一貫四五百匁位の石ツコロを屋根一パイに載せてある。是れが頗る奇觀で街を歩いて居ると石ツコロがゴロゴロ轉がり落ちて來さうに思はれる、迚も小心な神經質な者は家の軒を潜りきらないであらう。樺の皮がかし古くなると其の石ツコロの上に土を被せるから全くの土屋根だ。夏になると草が一面に生えて、粟もられば稗もある、雜草もある。寧ろ一層のこと畑にしたらよささうなものだ。尚樺の皮の利用は單に屋根葺や漁網用や棺の外裝に止まらぬ。

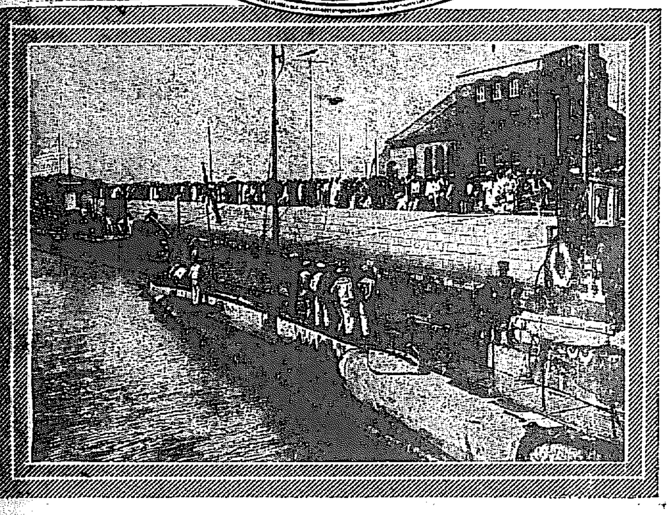
脂氣が多くて 火付がよいので內鮮人の家庭では附木の代りに使用して居る。水に浸して置くと伸縮自在であるから曲物細工に用ゐる事が出來る、京城でも之を上草履に細工して販賣して居る店があつたやうだが、今少し需要の範圍の廣い利用方法がありさうなものだ。且つ此の方面の農民は冬季期間は溫突に引籠つて外に一歩も出ないのだから冬籠り中に於ける勞力を利用する副業として

簡易な工業を 授くることが必要であらう。幸ひ上林道知事は以前山林課長として令名のあつた人だから相當の施設、奬勵があること、思へるが來任日尙淺いので一度も巡視した事がなく官制改正で道內各地に留任運動が起つてる位の有樣だが愈々腰が据はつたら種々の施設を見るであらう。茂山に來て不思議に思つたのは市街に井戸の一つも見當らない事だ。何處から水を引くだらう…と聞いて見ると此の一帶は

熔岩が被つて 居つてイクラ掘つても水は出ないのだ。昨年守備隊で三四十尺も掘り下げたが熔岩を掘り拔く事が出來ず遂に中止した。今は城川江の礫を掘つて砂を潜つて來る河の水を飮用として居るのだが大水が出ると井戸が流されたり埋められたりして非常に困る事がある、飮用水の問題は將來茂山に取つて大問題である。







仁川入港中の潜水艦
（上）港頭に現はれたる〇五〇七
（中）ランチの上より見たる兩艦
（下）閘門をくゞりつゝあるところ

爆彈犯人姜は 飽迄傲岸不遜

總督に面唔すべしと豪語し

何かと駄々を揑ねる

爆彈事件の犯人姜宇奎は目下鍾路の拘置監に留置されてゐるが七日は午後三時過ぎに京城地方法院の檢事局に出廷して境檢事の取調べを受けた、境檢事に聞くと『眞犯人か否かは僞報が終結せぬと確定しない、兎も角取調べは着々進行してるが被告が檢事廷での自白の內容などは飛んでもない、而して

口外 は出來ない。然し數回の取調に姜が微笑を帶びた顏には何となく人を魅する力があるが一歩國事を談ずるや談論風發卓を叩いて怒號すると云つた風である云々』と。聞く所によると姜は飽迄傲慢不遜にして、檢事廷に於てすら總督に面會の上語るべしと云つてゐる相である、そして監獄は頑房で清潔ではあるが盜賊と國士とが同じにゐるのは間違ひだとか何だとか盛んに

駄々 を揑ねてゐる相である。更に七日の午後、檢事廷の取調を終つて護送の馬車に乘移らんとした時本社の寫眞班がレンズを向けると忽ち『此方へ來い……』と大喝した倨姜の態度は傲慢であつた彼は六十五歲と稱するも一見五十歲前後と見へ巨軀を聳々と巡査監視に擁されて行く有樣は朝野を

震撼 させた爆彈事件の犯人に相應はしいと思へた。而も取調べは着々進行し、鄕津檢事正が『未だ〳〵海のものか山のものか分るものか』と云ふ口吻の中にも既に犯人と云ふ事が九分九厘まで確實らしい

支那守備隊と巡警衝突

四日夜新埠坡鎭に於て

伊藤特派員發電

四日夜新埠坡鎭の對岸十三道溝にて支那守備隊五十名と巡警三十名と鬪爭互に發砲し死傷者を出だせり其原因不明なるも銃聲を聞きて馬賊至れりとなし騷げる地方あり

旅客怨嗟の聲

新安州より厚昌迄

國境方面は馬賊襲來で不穩

感心しない巡査の懷ろ手

京城より新安州を經て价川熙川江界厚昌地方を視察し八日朝歸城せる某氏は語りて曰く

厚昌は鴨綠江沿岸の一小邑であるが其對岸七道溝附近には昨今馬賊出沒し何日何時渡河して襲來しないとも限らないので一般に

人心恟々 としてゐる邦人の如きは新事業を手控へにしてゐる中には氣の早い連中は家財を山中に隱匿し避難準備をしてゐるものまである今回の旅行に就き最も痛切に感じた事は交通の不便な事である先づ順序を正して云へば新安州の輕鐵と京義線の旅客列車と聯絡されてないから徒らに新安州で輕鐵の出るのを

三時間も 待たなければならぬ歸途も同樣少しも京義線に聯絡されてゐないから三時間以上も待たされた又輕鐵と自動車との聯絡も取れてゐないから自動車に乘らうとするには四時間以上も無駄な時間を費さなければならぬ。熙川から江界までの自動車は一日一往復より仕ないから旅客は

一週間前 から申し込んで置かなければ乘る事が出來ぬから旅館はいつも旅客で充滿してゐる旅客が立ち込むだけに旅館の待遇も甚だ宜しくない旅客の怨嗟の聲は到る處に溢れてゐる而も其の自動車たるや廢品に近く一度び雨が降らうものなら遠慮會釋なく漏つて

濡れ鼠に なる自分の如きは外套上衣を通してシャツ迄ビッショ濡れとなつた一人である此の乘合自動車の乘車賃は他よりも高く一里三十錢を徵收し往復共毎も滿員であるから非常に儲けてゐる譯である旅客の便を圖つて一二臺新しいのを增して貰ひ度いものである自動車道路は先づ平坦で勾配も尠いが

十數ケ所 驛改築中の爲め下車し中數箇所は乘客が自動車の後押しを仕なければならぬ所斯くの如く交通の不便と馬鹿馬鹿しい勞力と時間とを冗に費すので新安州出發以來不平滿々たるものがあつたが价川の安州旅館に一泊して旅情を慰められ不平は忽ち一掃された同地方は

虎疫猖獗 の爲め防疫行屆き殊に警察衛生思想が都會よりも進步してゐる安州旅館の如きは魚菜共一切生物を用ゐず茶碗と皿と器具一切は湯に煮沸し客の前で茶碗の中に入れ熱湯を以て消毒し客の前で始めて箸を以て熱湯から出し茶碗に

飯を盛る と云ふ風だから少しも心配は入らぬ如何なる猛烈なる虎列拉と雖も斯の如く注意が行屆いて居れば喰物から侵すやうな事は斷じてない同地方も警察官と憲兵と交代した許りで事務も一向に捗らない內地から來た巡査君の如きは洸予

懷ろ手 をしてゐる始末である朝鮮語は分らず事情には精通しないから懷手するより外に道があるまい殊に制服が無いから和服だけに懷手には都合が好ささうだ江界から厚昌附近一帶は流言蜚語盛んで不安の念を抱いてゐる內地人も尠くない云々

交換手の栗拾ひ

安邊の石水洞で

京城郵便局にては龍山郵便局と聯合の上電話交換手に慰安を與へ兩局交換手の圓滑を圖る目的にて安邊郵便所長栗原氏の斡旋に依り去月廿八日第一回栗拾ひを同地石水洞に催し殘部八十餘名は五日河田電話掛長及び龍山電話主任交換手取締付添ひ前記場所に栗拾ひを催したるが一同は小鳥の樣に飛び廻り思ふ儘栗拾ひ餘興には龍山側の考案に成る京城側のダンス及び兩局聯合遊戲等ありて同五時頃引上げたるが手提袋に手柄の栗を脹らせて居たと秋には今日の樣に何處かで遊ばせて頂きたいと皆で話し合て居ますのよ

秋晴の仁川へ

思はせぶり充分に ヤツと潜水艦入港

本社主催觀覽第一日 今朝南大門驛の雜沓

更に艦內觀覽券九百枚を交附したので抽籤漏れの人も滿悅

微との風もない秋晴れの散策日和、八日午前の南大門驛は潜水艦觀覽の仁川行旅客を以て埋められた、復重ねて來らぬ戰利潜艦を此機會を外しては見る事が出來ぬと朝夙きから寄集ふた人々は、本社の注意に基いて何れも麗裝の氣も心も滿々しさうな面色で定刻前から續々と押かけた。抽籤外れの多數讀者も切めては外觀だけなりと希望する者數知れず、本社臨時出張所を中心に驛の內外に集合する者千數百名南大門驛には時ならぬ人の波が寄せて宛然祭禮か何ぞのやう、處へ本社が海軍當局と幾回かの交渉の結果更に艦內觀覽の許可を得た追加券二千八百枚の內當日分九百枚を配附したので團員は轍鮒の水を得たる思ひで我れも〳〵と爭つて交附を受ける、乘車券を請求する者、順序等を問合す者、二十餘名の本社員は目の廻るやうな繁忙を極めた。斯くて午前八時五十分發第一回列車には數百名の團員が搭乘て……。

乘して櫻花の徽章を胸に翳した本社員十餘名の案內の下に整然と隊伍を結び歡喜の聲を擧げつゝ仁川に向つた。第二回の臨時列車には善隣學校生徒約三百名其他の多數團員を乘せて出發する。十時五十分發の第二回列車にも又數百名の觀衆を滿載して發車した、老も、若きも、紳士も、淑女も、學生も筋肉勞働の諸君も皆一樣に希望の色を面に湛へ

潜水艦と觀覽券

八、九、十日三日間午前八時五十分十時四十分南大門驛發

京日、每申愛讀者に限り更に二千八百枚本社及南大門驛前にて申込先着順に進呈

築港內の雜沓

本社休憩所大繁昌

携帶品は無いが佳い

潜艦觀覽の第一日たる八日は朝來秋色麗かに晴れて絶好の觀覽日和一番列車に搭じて仁川に下つた京龍の觀衆も尠くない內に龍山中學鐵道學校專門學校等團體の觀覽者あり仁川の拜觀者又多數時刻を待つて築港內に押し寄せ收容力の豐でない潜艦繋留の

岸壁上 には人の波を打たせての大混雜、聽て京城から本社主催の特別觀覽列車が到着すると千數百の觀覽者は蜿蜒蛇の陣を作つて築港內に雪崩込み本社休憩所其他は一時に人を以て埋めらるゝの盛況である、築港內には警察官憲の周到なる斡旋と府廳職員其他の熱心な盡力や乘組艦員の懇切な說明等がある筈だが艦內は十二時から一時迄は乘組艦員の食事其他で一時觀覽を

中止す る事になつて居るが觀覽の最も注意を要するは携帶品は一品も艦內に持ち込む事が出來ないから成るべく洋傘ステッキの類も携帶せぬ方が便利である殊に艦內は下駄を禁止されて居るから成るべく草履又は靴と云ふ具合に觀覽者は豫め現場で履換付かぬ準備が必要であらう

乘組員招待

仁川八阪樓にて

仁川府民有志六十名は七日午後六時より今回入港の潜水艦乘組准士官以上二十四名及び鎭海參謀其他を八阪樓に招待し盛んなる慰勞招待宴を催したり

飛降りて負傷

七日午前十一時頃黄金町より義州通行電車が茶屋町通り停留場に差掛り停車せんとしたる際京城府仁洞百四十八番地古前泰淳（三一）が車掌の制止を聞かず飛降りなし足部節其他に輕微なる打撲傷を負ひたり

鮮人轢かる

五日午後一時南大門發部五旅客列車が六日午前四時過力甫大同江鐵橋附近の折柄線路通行中の鮮人男二名誤つて同列車の前頭に觸れ內一名即死一名は大腿部を轢斷されたり急報に依り附近官憲に引渡されたるが住所不明にて目下取調中

頃

防疫所では各室の入替をやつてるが衛生課でも隣室の都合で早速ついたので早速總司令部が引移つた▲正面に卓子を二脚並べ其處に防疫宣の總司令部を置いて留守にして出張中の芳賀博士が總司令官なら課長は總務課長格▲防いで防ぎ切れぬ虎疫の強襲に總司令部には暗雲が漂つて居る▲芳賀博士曰く『俺に出鱈目がないよ防疫が徹底せぬ譯はないんだが今度の虎疫は頗る執拗で困る▲此前の流行には患者三千名で喰止めたが今度は其倍數以上に上つた』と熟々嘆息して居た▲江原の虎疫が一寸下火になつたと見えて……病氣を隱蔽して盛んに病菌を散布したからださうな▲虎疫患者の屍體の始末から火葬まで醫師や巡査がして吳れ施行の手當が可いといふので水野總監宛に特に禮狀も寄こした鮮人

大爆破

水雷地雷

工兵隊の演習

龍山工兵隊にては永見儀助大尉指揮のもとに十一日午前八時半出發西氷庫附近に行軍し同地にて午前九時より正午に亘る間地雷水雷の爆破演習を實施する由なるが右爆破は先頃實施したる者より大々的にして演習と雖も壯烈を極むる筈にて地雷は轟然爆破すると共に黑煙天に沖し土塊石塊等四邊に飛散し壯絕を極むる由

採木公司 木稅局長 放還さる

は重罪か

鴨綠江採木公司支那側理事唐鎭元氏は曩に安東木稅局の稅金約九萬元と共に橫領逃亡したる木稅局長劉玄樹事件に關係ある嫌疑にて高等法廳に逮捕拘禁中なりしが身柄は放還せられ六日發令されたり其の後任には曾懋氏任命せられたり木稅局長劉玄年は鄉里驛際に潜伏中官憲に逮捕せられ安東に護送の上目下審判所に取調中なるが途程の重罪の由にて目下罪の輕減運動中なりと云ふ（安東縣特電）

庭球界の人々（七）

朝鮮銀行司事　木場貞一郎君（鮮銀）

鮮銀第一の運動家木場君は貴族院議員木場貞長氏の令息で學習院と云ふ公卿の學校に育つた人とは思へないほど平民的な好紳士である渡鮮したのは昨年八月で鮮銀の一運動家として京城の總べての運動界に男飛して居るテニスは素晴らしい腕前で前後衛ともに立派である今日では技術として鐵腕を揮つてゐる老將中では出色で鮮銀選手としても重鎭であらう。君は明治廿一年東京に生れ生粹の江戸ッ子である學習院から京大法科に入り大正二年卒業と共に日本銀行に入り轉じて鮮銀に入つたのは七年秋である、ラケットを握つたのは小學時代からで學習院大學共に選手として令名があつた相である御得意は『運動は萬屋です擊劍は駄目ですが水泳、乘馬、テニス、スケート、競走、野球は悉べてやりました水泳は一人前ですよ』……野球は學習院時代にやつた丈だが大學當時分科レースに出た經驗天で非常に感じのよい好紳士である。（現住所は米倉町二八）

朝鮮銀行

資本金　金四千萬圓
拂込濟資本金　金參千萬圓
積立金　金四百貳拾壹萬八千圓

總裁　美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店及出張所
內地　東京　大阪　神戸　下關
朝鮮　釜山　仁川　元山　群山　木浦　鎭南浦　平壤　會寧
滿洲　大連　旅順　奉天　長春　哈爾濱　開原　四平街　傅家甸　營口　吉林
支那　上海　青島　天津　濟南
（露領）浦潮斯德　ブラゴウエシチエンスク　ハバロフスク

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外ノ主要地ニ爲替取引先有之候

日一日と色白くなる

美乳

流行る筈―賣れる筈！

もう妾は美乳を片時も離されぬ樣になりました、それは美乳が不思議な程生地から色を白く美くした實際的の效果が私に現はれてゐるからです、私は美乳をつけてから著しく皮膚の色が白く美しく見違へられる程美人となりました、これ迄いろ〳〵な化粧品を使つて見ましたが、美乳程不思議の美白力のあるものはありません、ですから妾は朝夕欠さず常用してゐます。しかし外出の時には美乳の姉妹美容料『純白美乳』を一滴塗けて一入水際立つた化粧ぶりを喜んで居ます

家庭では＝朝夕必ず美乳!!
外出の時一滴＝純白美乳!!

本舖　大阪白粉本店　矢野芳香園

神經衰弱 生殖器病患者は急ぎ

恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ●神經過敏●頭重●頭痛●眩暈●思考力減退●記憶力減退●頭內鬱悶●食慾不振●全身●倦怠●四肢の痲痺●陰萎●夢精●早漏●發育不完全等に苦しむ方は至急本院に申込まるれば生殖器病專門陽春堂院長が多年苦心研究の結果發見せられたる專門藥ノイラの說明書無代進呈す　藥價十四日三圓五十錢　廿日七圓　六十日十三圓　九十日十九圓　送料卅錢

東京神田三崎町三丁目一番地　陽春堂藥院　電話番町一三〇八番　二八四二番

第五版

安東縣より
安東支局　郡山生

◆近來不逞鮮人等が滿洲及び上海方面より安東縣に入込み來り不穩の行動をなすもの漸く多く其の筋にては嚴重の取締をなすと同時に其檢擧に努めたる結果安東警察署の手に逮捕せられたるもの約四十名に達し內三十餘名は朝鮮へ護送せられたり、其罪名は主として制令違犯にして重大事件には非ずと稱せらる
◆土地熱沒却　一時安東の土地熱は非常に昂騰し猫も杓子も土地の思惑を試みるもの多く中間ブローカーと稱する連中橫行濶步殆ど百鬼夜行の體なりしが近頃に到り輿論喧しく加ふるに行政委員會の組織となり官有土地管理會を安東民團に合併し土地貸下規則を改正せよと絕叫するに到りてより急に前途を悲觀し公然土地思惑に狂奔する者減少するに到れり
◆株熱猛烈　一方土地熱の冷却する反動として近時漸く株熱の旺盛を見るに到れり殊に最近創立總會を開かるべき二百萬圓の株式會社安東商券商品信託公司の創立に伴ひ益其氣勢を煽り株の思惑するもの漸く多きが如し元來安東地方に於ては事業熱の勃興に伴ひ各銀行會社に投資するもの頗る多く資金の固定其の度を過ぎたるかの觀あり今日信託公司の設立は或は時宜に適したるならんかと云ふ
◆高等女學問題　安東縣に高等女學校を創立せんとするの議は日中民團役所は行政委員、滿鐵各係の主任及び新聞記者、各町より二名宛の參集を請ひ高等女學校創立に關し其腹案の成案を造り其の實行方法を定むる運びに到る高等女學校の問題なれば一般の努力と援助を希望す
◆六道溝の繁榮　六道溝は民團附屬地たると滿鐵附屬地たるとを問はず土地の如きは全く空地なき有樣にて甚だしきは一坪の權利讓渡し價廿五圓を稱ふる處ありと云ふ目下大工場の工事中なるは鴨綠江製紙株式會社、滿洲製藥株式會社、營口寺尾衡丹氏の染色工場、興東公司の製紙工場等其他大小十を以て數ふべく茲二三年の後に於ては實に煙筒林立の壯觀を呈すべし

大連市長選擧
大連市長選擧は二日午前十時半より市役所に於て行はれたり市會議員總數三十名中若干の旅行者及び多數の辭職者を出したるを以て漸く出席者十五名の半數に達するを得て辛くも市會成立す高濱市長代理起つて挨拶を爲し「二市會撤廢論者を交へたる外他皆市自治に關する知識、經綸を有する人々」云々」曾て市會撤廢を唱へし者の議席に在るに對し痛烈なる皮肉を與ふるや、小澤議員憤然立て議長に發言を求む、許されずして市長選擧に入る、第一候補は石本貫太郎氏十四票、相生由太郎氏一票を以て豫想の如く石本氏の當選を見たるも、石本氏は直ちに辭意を發表す、議員諸氏石本氏に認諾再考を勸むれど氏は固く辭し再選を求めて已まず、依つて第二第三候補の選擧に移り相生由太郎氏十一票を以て第二候補に川上賢三氏三票を以て第三候補に當選す
◎大正會系より選任又選擧されし齋藤、板谷、大來、岡田、京田の五議員は從來の主張たる純自治の精神に反するの故を以て辭任し、又復選議員中三四名の辭職者あるべき狀況にして今後の市會は相當紛議混沌するべき兆早既に見ゆ目下世論の焦點となり居るは過般一般輿論自治政施行市制の改善を高調し在るの際、之に反抗して忽如として市會撤廢を絕叫して起てる人々の中より官選議員を見たる事なり當局の意那邊に在るや知るを得ざれども、今後の成行こそ注目すべきなり。

市會議員銓衡難
市長は結局再選の外なし

既報の如く大連新選議員中の市制革新派と目すべき五代氏に於て辭職を見、又再選議員中二三氏は既に辭任を申出づるあり、其他尙辭任者を出だすべき模樣にして現下の大連市會は頗に暗雲低迷の觀あり、而して曩に市制革新を標榜して起し大正會は近く市民大會を開き斯問題に就き一般市民有志と諮議すべしと
◎這次の大連市會議員官選銓衡に對し物議紛々たるものあるが之に對し當局の辯明せる處を綜合するに『現市制は其の自治制に到達する過程即ち研究時代に屬するを以て種々異なれる意見主張を有する人士を汎く網羅するの要あり、即ち市會撤廢論の如きも一見民意に逆行する僻論の如く觀ゆるも、能く仔細に點檢すればその必ずしも全然然るにもあらず、却つて斯論中他山の石として參考とすべきものあるを思ひしに依る』と云ふにあるが如し
◎二日行はれし大連市長選擧は既記の如く第一候補石本鏆太郎氏、第二候補相生由太郎氏、第三候補川上賢三氏當選、即日關東廳に對し手續に及びたるが既述の如く石本氏は辭意頗る牢固たるものありて恐らく何人の勸告も効を奏せざるべしと觀ぜられあり、第二候補者相生氏は現に商業會議所會頭の職にあり、其他各種事業に携はりおりて頗る繁忙の身なるを以て認諾容易ならざるべく、第三候補川上氏も亦現下の狀勢より推す時は到底起たざるべしと信ぜざれあるて市長再選擧の外なかるべしとに觀測されつゝあり又此の反面には或る一派の運中市長の椅子獲得運動を猛烈に始めたりとの說道途盛んに傳へらる
◎大連市の市會撤廢論者等數名の同志は市長選擧會のありたる日の夜市內某旅亭に會し、市制撤廢の要を力說し、同志は協力之れが爲めに盡瘁すべきを誓ひたりと傳へらる、と世は樣々とこそは云ふべけれ
◎旅順も亦市會議員選出に對する物論喧々たるが如し、其の一に就いて聞くに陸軍側より一屁員を官選議員として出せるに對し一般輿論は一屁員をして代表せしむる如きは市會を輕視するものなりと難じつゝあるが如し然するに若し陸軍側にして輿論の曰ふ如く、市會を輕視して名實相副ふ下級者をして代表せしめしとならば之れ實に考慮を缺きし措置たるの誹議は免る能はざるべし、然しながら下級者必ずしも無能不適任とすべき理あらず單に一屁員たるの故を以て市會を輕視すとなすにあらば之れ實に謂なき最早陳腐に屬せる階級觀念的因はれの發露にして時代の大勢に逆行するの考へと云ふべし、又輿論の唱ふる如く階級の低きに伴ない人格、才幹共にその人にあらざるなれば、之又時代の趨向を無視せる措置なりとの謗に已むを得ざるべしと觀ぜらる

著材五千臺
採木公司の流筏狀況を聞くに依然流筏は順調に行はれ居り去る二十九日迄の著筏は五千五十三臺に達したり尙ほ今月中一二回適當の降雨を見るに到れば申分なきもこの儘に推移するものとしても五千三百臺の流下は相違なき處なるべしと云ふ(安東縣)

兼二浦製鐵所の職制改革
元山、京城出張所廢止

豫て期せられたる三菱兼二浦製鐵所の職制改革は本月一日發表せられたるが大體に於て從前と大差なきもの、如きも所長の下に直屬せし各部を廢し所長に各課を直屬せしめ其結果として元の銑鋼部長たりし河村參事、電氣部長たりし石原參事の兩氏以下技師の一部は東京本社詰となり總務部長たりし山形參事は調査課長たりし武藤參事の兩氏昇進して製鐵所、次長となり其他各課主任級以下にも移動せるもの紗からず又元山京城の兩出張所は廢止となり兼二浦に合併せられたり

哈爾賓に於ける支那人の增長
近來支那人の橫著となれるは著しき事實なるが別けても露人に對する仕打ちは傍の見る目も小面憎き程なり世が世ならホヂャア〳〵でこきこなし居たるもの今日は却つて彼等の無禮不法の振舞に對して默して泣寢入りせねばならぬ境遇に落ちたる露人も亦時勢の然らしむる所とは云へながら氣の毒なるものなり左に掲ぐるは沿線地方に於ける此間の消息なり九月十八日午後八時頃布哈爾停車場に於て第三列車到着の際停車場の混雜甚だしく爲に停車場に整列し居たる支那鐵路警察兵は乘客の妨害となりしを以て若干後方に整列すべきやう露國警察署部長は支那警察兵に交涉したるに支那兵は之を肯んぜず該部長を

掌にて毆打
し現場を逃走せり九月二十二日午前十一時頃布哈爾停車場裏に於て支那第十九混成旅第二團第二營の兵卒一名は布哈爾驛食堂主人タランスキーの七面鳥一羽を竊取逃走せんとする所を同驛車掌トーシカマクテャーカ耽認し該七面鳥を取戾したる所支那兵は車掌面部を平手にて毆打し且つ靴にて蹴りたり九月廿一日午後二時頃札蘭屯停車場に於て過激派捕虜積載列車が同驛停車中支那人物賣は物品を列車中の捕虜に販賣せんとするを以て立哨中の露國步哨は之に對し驛長若くは露國警察の許可を得ざれば販賣する事を得ずと諭し居りたる

露國の一婦人は
掛忠所に西瓜を與へたるを見て露西人に許可しながら支那人に許可せざるは不都合なりと爭ひ其場に露國巡査と居合せ其の事情を告け居りしに新に交代駐屯せし奉天第二十九師の停車場步哨の一兵卒は突然銃劍にて露國步哨の軍衣の裾を突き破りたるも身體には異狀なかりき而して又他の支那兵は露國巡査ジアチャンカを捕へ毆打せんとしたるが其際第三列車札蘭屯に入り來り乘降客の混雜に紛れ露國巡査及び步哨は列車中に入り込み支那兵の暴行を免れたり

空地調べ
三萬坪もある

安東の住宅問題と
安東縣の住宅問題は久しき以前よりの問題にして今尙ほ緩和せらるゝ見込みなく一方土地熱の騰貴の極に達し草茫々の市街宅地は坪當り二三十圓以上甚だしきに至りては百數十圓と稱するに拘らず市內に散在する空地は所有者七十四名二百三十四筆合計二萬九千五百十五坪を算しれり此の內一人にして千坪以上を有するものは領事館の三千四百二十坪、關東廳の千二百坪を別として五名あり猶町名別に區分すれば左の如し
△大和橋通四十一筆四千二百七十五坪△六番通二十二筆四千五十坪△二番通三十一筆三千九百五十六坪△堀割南通二十三筆三千三百十八坪餘△三番通二十一筆二千七百八十二坪餘△四番通十三筆二千五百四十六坪△五番通三十二筆二千二百八十六坪△一番通十筆千五百六十五坪餘△七番通十三筆千五百十六坪餘△市場通十一筆千四百四十三坪△八番通三筆千二百四十一坪餘△堀割北通四筆五百七十六坪

軸木原料拂底
安東及び新義州に於ける燐寸軸木製造工場は東洋燐寸、日本燐寸、小山製軸、朝鮮燐寸其他一二箇所あり近來神戶の高値に伴ない產地の價格も非常に昂騰したるも其原料木に拂底を告げ當業者は一般に困惑しつゝあるもの多し元來軸木の原料はドロナギ、シナノキ、ポプラ、白楊等に限られ居るかの觀あり上流の採伐地にありては是等特種林のある筈なく他の材木の間に點々散在し居るを伐採するに止るを以て一箇年の流下何程と云ふ見當付かず、只徒らに豐富なる材木ありと云ふ風說に捉はれ軸木工事の起業を見たる曉あり今日にして相當救濟の法を講ずるにあらざれば同工業の爲めには一大打擊を見る時期來るべしとなすものあり(安東縣)

江景の虎疫
益猖獗を極む　患者二百二十餘名

忠南江景に於ける虎疫は益々猖獗を極め官民協力防疫に努め居れるも水陸四通八達の位置に在ると河川の市內を縱橫に貫通する爲め病毒の蔓延を防ぐに當事者の苦心尠からず十月三日正午迄も虎疫患者二百二十餘名を算するに至り內死亡者八十餘名を出だし益々蔓延の兆あり(群山)

全南地方には野鹿や猪が多い
鳥類も本年は特に集つてゐる

京城以北一帶は今年は甚だしき旱魃の爲め農作物凶作なるが爲獵シーズンに入れる昨今、山野の脈鴨類は日々の食餌に缺乏を感じ鳥獸までも自然五穀豐穰の南鮮地方に飛散雲集し來るもの、如く、それかあらぬか全道第一の豐作地なる全南地方は今秋に入り脈、鴨、雉子類を始めとし鹿、猪、類も例年よりも稀なる出沒ありて白雪山野を橫行するなぞ狩獵家の腕鳴れり、去る一日以來の狩獵連は每日雉子何羽、鹿何頭と大獲物攻に出逢ひホク〳〵もの、盛況なり(光州)

商況

株式

東京現株　至急電報
▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込	八日中值
鮮銀	一〇〇・〇〇	△二六九、〇〇
同新	二五・〇〇	△二四四、〇〇
京電	五〇・〇〇	……
東拓	五〇・〇〇	……
同新	一二・五〇	……
殖銀	三〇・〇〇	△一〇二五、〇〇

東京株式　至急電報

◎八日第一立會		前電比較
東株	四三六、〇〇	三、五〇高
同新	四一四、一〇	五、九〇安
滿鐵	一九一、四〇	……
一新	一八七、九〇	……
二新	一五八、四〇	二、九〇高

京城現株　標準値段
▲印騰貴　△印下落

名柄	拂込額	時價
仁取	三七・五〇	▲二五五、〇〇
朝郵	三七・五〇	四二、〇〇
電興	一五・〇〇	一九、〇〇
皮革	三〇・〇〇	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	▲三二、〇〇
朝紙	一二・五〇	三五、五〇
商銀	五〇・〇〇	△五六、五〇
同新	一二・五〇	一七、〇〇
鮮毛	一二・五〇	▲五七、五〇
鮮糖	二七・五〇	五一、〇〇
朝煙	二〇・〇〇	三一、五〇
鮮鐵	五〇・〇〇	七二、〇〇
朝土	一二・五〇	二三、〇〇
東亞	一二・五〇	四四、七〇
釜貿	一二・五〇	三四、五〇
仁倉	一二・五〇	一五、五〇
製粉	一二・五〇	一九、〇〇
朝日	一二・五〇	一四、〇〇
朝絹	一二・五〇	二一、〇〇

仁取株强氣觀
仁川取引所株は近來賣物なければ相場は必らずしも引立たざるが之れ該株式の東京方面に人のあるもの多く聊か强氣氣味のため買ひ煽し乏しきに因由するも同所當期の決算による利益は六月より九月までの四ヶ月に三十二萬圓を擧げ居れるにつき之れを一年に通觀すれば九十六萬圓となり拂込資本金の十九割强に相當す然も仲買の增資高他の事情により期米の賣買高に益々增加の模樣なれば此の勢ひにて進まば結局賣買より觀て二百圓突破は遠からず而して殖銀の借入金を全濟し尙は好成績を告ぐるに至らんか株價の吹き値は盡し端睨し難からんこいふ

東亞株大鳴物
煙草專賣の內定は東亞煙草株の大鳴物なり唯政府の會社に交附すべき金額は尙ほ明らかならず議會までに區分採まるべきも結局七百萬圓より一千萬圓までの範圍ならんとは消息通の觀測たり爲東亞株は漸く熱心筋の注目加はり來れるものの如く八月末以來殆んど居据り狀態を續け居れる同株の景氣も漸次擧り來るべし

殖銀增資氣構
殖銀株は七日夜當地某商店より東京に百四圓買の注文電報に對し賣物少なく高氣配なりとの返電に接し八日更に東京方面より百五圓買の入電ありたり要するに增資見越の氣構へ一般に强くなれるに由るならん當地にては百五圓所にて百株百五十株こ纏りたる手合せを見たり

電興株依然不味
電興株はピッチ代用品發見等のため强材料出でし譯なるも物價勞銀の騰貴は會社の狀態を容易に樂觀せしめず現に平壤鑛業所の煉炭は欠損して賣り出し居れる實狀より推し會社が鑛業所より高値に煉炭を賣らざれば收益發束なしこの觀測あり然も高値賣りは不可能につき結局悲觀賣り相當にあれご十八圓より九圓所は斯株こして底入れならんべし

電鐵募株好況
金剛山電鐵は未だ踏查中の個所もありて工事完成後其の收益を擧ぐる迄は尙ほ前途遼遠なるに拘はらず總督府の八朱補給が呼物となり且つは第一回拂込金の小額は應募を容易ならしめたる節ありて七日締切迄の申込み豫想は意外の好況にて鮮銀五萬株丸二商會一萬四千株に達する見込みなれば京城のみにて六萬四千株を數へ之れに鮮銀各支店及び內地の申込みを合算する時は恐らく數十倍に達すべしと云ふ

金剛電株割增
金剛山電鐵の株は近來の人氣を蒐め居れるが東京より當地某店への入電によれば十五圓(拂込み五圓)にて賣り物ありとありされご應募狀況も明らかならざる今日十圓のプレミアムは行き過ぎなるべく六七圓見當を妥當こすべしこの唱へあり

期米賣買引受　仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衛商店　仁川海岸町

商銀小安し
商銀株は格別の賣材料出でたるにあらざるも本日手合せは稍小安く保合氣味を見せたり

豐作こ株式
今年の豐作は第一回發表の豫想高六千百萬石にして今日迄の天候順調に徵せば之位ひの收穫が豫想せらるゝ事又怪しむに足らず而して米の前途は特に安値に墜落すべき傾向の認められざる事情の下にありては農家は收入の增加によりて益々購買力を高め商品に株式に更に景氣を煽る事こなれば逆勢する偏傾に難からず之れ期待すべき處の市場に最近の狀は有の人氣に支配せられ買又趣なから現れたる然も相當への反撥は一般の期待せるが如き活躍も演ぜず小幅の騰落に反覆せるか如きは一見不思議に感せらるゝ處なれども之れ要するに單に豐作のみに止まらず從來の相場が既に各種の好材料を消化し來れるが爲めに今更の材料反撥は却つて冷靜なる向をして利喰を行はしむるに由る況して來り買ひ雜作に反しつゝは一ッの見越賣に過ぎざるに至し賣方には從來謳歌し來れる好材料が却つて現實の逆作用を現はして加擔せんとする傾向なきに非らざれば縱令將來に於ては再び大出直り步調に轉ずるこも可成り大なる中間反動を實現するに至るやも知るべからざる形勢こなれりこ

兜町だより
▲東株大主會幹事望月、織田、南波大井書記長等こ鄉理事長この增資協議會は三日夜豫定の如く開催された……鄉理事は農商務省の意見强固にして動かすべからざるを宣し步を進めて併かし現在取引所の諸計算決濟勘定に平均一千五六百萬圓宛の臨時借入金を爲し幸うじて此の取引を支へつゝある程にして資本金の不足一目瞭然たりである
▲……果して成功するかドウかは分らぬが本年內には新株を拂込同時に五千萬圓以上に增資すべく運動の方法等は自分に全權を委任して貰ひたしといふとであつたこかいふとだ
▲紡績株やモスリン株には太分會社筋や堀留筋の親玉が這入つて居た……勿論會社側の說明に依ると假りに八時間勞働を斷行しても晝夜交代制を採用するから要するに小額の賃銀が引上げられた丈けのとで生產能率の上には却つて好い結果を齎らすかも知れぬといふて居た
▲高橋藏相が或る人に洩らした處では故らに金融政策を以て市場の購買力を減殺するやうなとは斷じて行らない在外正貨の準備除外說もマダ決定した譯でない又國際經濟關係上在外正貨を度外することは絕對に不可能事であるこいふたソーだ▲米國から日本に對し西伯利撤兵の提議があつたこいふ新聞號外が發行されたので市場は一時賣人氣を助成した模樣だつたが外交家は却つて雨降つて地固まるこ解釋して居た▲日本皮革の暴騰は製鐵所拂下ご同時に皮革官業振下問題が解決されるこいふにあるらしい

米況

東京期米特電
◎八日前場　當限寄付　四十一圓八十九錢　中限寄付　四十一圓七十錢
八日前場　寄付　四一、一五　高値 ……　安値 ……　止め ……
日後場

大阪期米特電
◎八日前場　當限寄付　四十四圓六十二錢　中限寄付　四十三圓〇八錢
八日前場　寄付　四二、一〇　高値 ……　安値 ……　止め ……
日後場

神戶期米特電
◎八日前場　寄付　四一、三〇　高値 ……　安値 ……　止め ……
日後場

下關期米特電
◎八日前場時雨勿安寄過ぎ祟り

	中限	先限
寄付	四一、〇〇	四二、〇〇
高値	四一、一〇	四二、一〇
安値	四一、二一	四二、四一
止め	……	……

仁川期米
(阪地安崩る)
八日前場
◎七日前場兵庫立會延刻

前日返地の五十丁安を受けて高値より七十丁暴落を演じ八十九こ不勢の成行きに打止めし折柄引跡又復阪地の止め四十一圓一錢の慘落を移し留いでは今朝天候晴天にて一入賣方の氣勢を阻止して公設賣りの旺盛に買方の心膽を寒からしめんとせしも高値で利喰ひ買方一派は透かさず防戰に努めせしが
▲第一節　當出來ざるも中六十九丁安に寄付六十錢こ反撥せしも戾りは買方手控へこ小口の投物も賣物寢ゐへずに五十錢こ押し五十錢こ混戰裡に引
▲第二節　當出來ざるも中六十錢の賣りに弛み先五十錢より一錢こ上迪りせしも賣物寢ろへず四十三錢こ押し四錢こ不勢に引
▲第三節　當中出來不申先四十八錢より七錢こ下迪りの折柄大阪寄前四十二圓十錢こ昨後場止より百九丁の大上放れ入電を早耳したる團◎の突進買に安値に揉みの煎れ物を喚起し九十五錢こ煽りしが高値は眼先の手仕舞ひに八十二錢こ五錢こ混戰裡に引
▲第四節　當出來不申中◎團◎の手繰買に八十錢より三圓〇五錢こ返しこ一錢こ飛みて採合ひしが自然先物も之に促かされ二圓〇一錢こ反撥し戾り待ちの賣物に八十九錢こ押し九十一錢こ引
▲第五節　當限四十一圓九十錢中四十二圓九十五錢より八賣に八十錢に押し七錢こ小戾せしが先九十三錢より八十五錢こ押し六錢こ返して打止めたり

不自然の下鞘
昨後場阪地の激落に今朝は軟派獨占の舞臺こなりしが賣方の其成行き又不勢の傾向ありしが買方一派は四五十錢臺にて極力防戰的に買進みしかば漸く四十二錢を安値に殘し五十臺に採合ひたるが其機先大阪前寄突飛の早耳に買方一派は好機逸すべからずこして猛烈に活躍し三節は九十錢こ擠ぎ四節は中四十三圓の五錢先二圓〇一錢こ何れも五六十錢の反撥を演せしが高値は買方の手控へこ目先の利喰ひあり且つ阪地の跡安見込みに一圓八十二錢こド押し六錢こ氣丈に打止めたるが阪地高の割に仲力甚だ振はざりしは寄電の餘り上放れに過ぐるより跡安懸念に買手控へたる結果なるが兎角阪地に比し中先の下鞘なる丈け此邊値頃は尙危險視されつゝあり

精麥　製麥　販賣　京城岡崎町　福岡精麥所　電話長貳壹六四

八日場

寄付	止め	高値	安値
四一、五〇	四一、八〇	四二、〇六	四一、二一

公定相場

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節
四一、四九	四一、四七	四一、八〇	四一、九二	四一、八七

◇帳入値段　當限 四十一圓七十二錢　中限 四十二圓九十五錢　先限 四十二圓〇七錢
本日出來高三十八萬五千九百石

市場雜觀
相場も昨今の樣になるこ連勝の賣方一派も一寸躊躇されるので軟派は人氣に乘じて賣崩して來るが內地當限の存外手堅いのを眺むれば未だ〳〵で▲安値買は危險視されるのみならず現買上や相場の律から考へても三百丁上げに阪地の百丁崩れを移したこで夫れ程狼狽して投退く事は無いこ思ふ元來の鮮米相場が新米氣分で戾り賣りこ云ふ場面に偏傾され▲阪地こ鞘丈でも僅かに二百丁以上割安に有るのこ正米の採算から考へても矢張り押目買の餘地は有るかに考へらるゝも又軟派は十二月限は賣方に七步の附目を有し買方に三步こ云ふ振合の月であるから賣ふ云ふより▲寧ろ賣りて頑張つたら結局は弱氣の勝利に歸する如く唱へて安心すりを行ひ少々の買煽りでは踏物が出らんので買方に利援きの好機を與へぬのみか戾りは益々賣募ふて居るが作し軟派の思想通り鮮米の大勢が弱氣に流るかは疑問で▲或は新米期に際して逆に理外の理を生ずる事になりはすまいか內地の弱氣退か十二圓限は▲外米の捨て場所などで他人の痛氣を頭痛に病んで當局の買出し値段より何百丁も理想に走り過ぎて賣込んで居るも中々六千百萬石の數字發表はされても現今の消費額から考へるこ未だ〳〵何百萬石も不足されるのみならず鮮米の移出力は氣遣しき立場に立到つて居るのであるから眞逆ロハで賣出す事もあるまい▲其上當局が外米に手を染めて以來登ヶ月平均四十萬石以上の買行きを示して居るから十一の兩月で八十萬石の外米は未だ樂に賣れる餘地有りこ思ふので▲明年度の不足額は如何にして補給するかこ云ふ事も考へねば只數字の多額を示し米計り安く望まんこ水呑み百性の安心の出來るよう諸物價を先に安くせねば新米は山程積んでも賣難いこ云ふてる御百性が多い樣である

京城正米市場
外米代用制限說の悲觀に連日頭騰を續けし內地期米も昨後場は九日より政府の外米十一萬袋賣出し說にて人氣一轉大崩れを報じたるより當正米市場は各地の正米安移りこ俟つて聊か氣味ち惡しかりしも今朝場は前日の賣過ぎ反動こして更に逆轉突飛を傳へたる仁川定期の伸惱みに拘はらず荷主は先高見越しに一層强腰を示し買人側又眼先幾分上値を見かれ難しこの構へありこ雖今朝は鮮銀休みに賣人の出市者無かりし爲め商內更に行はれず殆ご見當立たざりしがチョンボク農場改良米にて四十三圓五十錢を唱へられ又昨後出來の分こして天安合格米四百以四十三圓の附出しありたり

粟依然買氣乏し
滿洲粟は期正米の昂騰に一部思惑潛みなきにあらざるも現下の在荷過剩を眺めては又先行き如何この懸念無き能はず新物なれば兎も角古は殊に前途望み薄しこて高値は何れも買躊躇の姿なれ人氣は又もや軟弱を唱へ昨今朝は鮮銀休みに出市者少なく十時に僅かに舊古現物十六圓三十一錢にて一車出來せしのみにて商內皆無を告げたるが見當こしては海城現は十七圓こ一昨午前中に比し約卅錢方の下唱へなり

大豆行悶へ模樣
大豆は昨移出口の引合ひこ鮮人筋の思惑買もあり人氣强硬に且つ商內盛んなりしが當日は聊か調子に乘り過ぎたる嫌ひありしこ本日は平盆に當り鮮商側休業に出市者なく市場は賣物可成りに多かりしこ雖買人更に無かりし爲め商內こしては僅かに平澤大豆一車仁川倉庫渡しにて二十圓三十錢の一口出來せしのみにて其他は賣高買安の不調談に終りが此邊行悶へ模樣に見受けられたり

仁川正米市場
今朝は期米の昨後場安移りに人氣一頓挫を來し買人一般に見送りにて商內閑散を示せしも安値は手持筋容易に賣放たず結局十錢安の見當にて小口商內纔々ありしのみなり
▲大豆は京城氣配の高移りと益買氣を促進し今朝は龍山物二十一圓三十錢長湍物二十圓八十錢白川物二十圓九十錢唱へにて凶作見越しの買人頗る多きが如し

釜山正米市場
內地期米昨後場の反落を入れ八日朝の當市場は合ひの四十四圓三十錢にて八千個出來せり▲大豆は持合ひにて新物二千個古百個の手合せありたり(釜山特電)

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話(二八二)長(一八三)　電略(シ)又(ハ)(カクシ)

綿作氣丈持合ひ
昨後場大阪入電は三品當限六百〇八圓六十錢先五百七十九圓三十錢綿布二銘一三物十八圓四十錢こ依然强硬の入電なりこ雖當地は昨報事情の如くなる上本日は恰も鮮盆に當り取引殆ご皆無の狀態なれば人氣に更に底意下强しこいふ迄にて前日來持合ひを持續せり

麥粉投げ物隱れ
上海粉は引續き割安を唱へ居るも滿洲粉の高値を維持せる揚先一時新米氣分に安値を豫想せられし米價も逆に期正米高を演じ來れるこ同時に思惑筋の嫌氣持品も茲眼先の引返しを見越して暫時傍觀的に賣控へこなりたれば自然投げ物姿を隱せる旁人氣稍底固き成行きを示せり今日にて鯉の五圓五六十錢上海粉の五圓三十錢見當を持合ひ唱へなるも眼先は多少引返さん氣込みあり

平板眼先高
亞鉛引平板は既報の如く英米獨逸の餘波こして既約品の積出し遲延の爲め本邦在荷次第に減じ內地製品の需要增加の傾きありこ雖之又原板の輸入同樣なれば自然今後の供給不足を見越され來れるに伴ひ人氣徐々に昂進模樣ありて昨大阪入電は三十番十五錢高を入れたれば當業者の賣腰頗る强し尙前手持品あれば此處數日間は現狀を維持すへきも次回入荷次第幾分の引上げは免かれ難かるべし

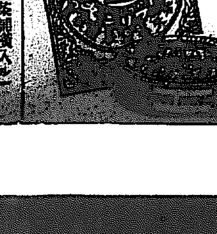
男女 生殖器病 りん病 (圖入り明細書 無代進呈)
藥で治らぬ男女生殖器發育不完全機能の衰弱陰萎子宮病消かち不姙症早漏包莖等に手輕になほす
專賣特許自宅安全自療法也
京城大和町ノ一　東京　奉天　大阪北區北森町一　新進法本部

戰後の劇務を處理する第一步は
パイン萬年筆の使用に始まる
優越せるパインの名は今や小兒の記憶に迄新たなり

鍍金金飾 金八圓八十錢　同 無飾 金六圓八十錢　彈力吸入式 金五圓八十錢
實用金飾付 金六圓八十錢　實用向 金三圓八十錢　學生級 金二圓八十錢
發賣元　京城日報社代理部　振京城三〇〇番

軍隊拂下被服類
營業品目　組茶ラシヤ服、外套各種作業服、狩獵用具、防寒用被服、毛布、メリヤス、防寒雜貨
京城府北米倉町　電話一壹二番　村上商店

ハカリ印
かぜ ねつ
かぜを治しねつを解くには
ハカリ印のヘブリン丸に限る……
ハカリ印のヘブリン丸が速かにねつを解きかぜを治すことは滿天下の實地經驗で明白である
定價十錢以上　家庭用五十錢、一圓
大阪　合資會社　天案



眼科專門
京城明治町二丁目五十六番地(宇治屋茶舖橫入る)
荻原眼科醫院
(電話二三六七番)　荻原院長

資本金　六百萬圓
積立金操越金　百貳拾五萬圓
株式會社　十八銀行京城支店　京城府黃金町二丁目　電話四〇一番
同　新龍山支店　京城府漢江通り
同　龍山出張所　京城府元町二丁目
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申候
又京城支店及龍山出張所ハ株式會社崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

伊達騒動 第二十四席

小金井芦洲講演

仙臺侯佃屋を召す

荒浪梶之助は横柄に 梶『仙臺のお館はんが御遊興と聞いたならマア普通の人なら謹んで居にやア成らねのに、故意と騒がしく太鼓を叩き三味線を彈くのみか、お家傳來の名香を焚いて利いてお出でなさる其向ふへ廻つて臭いものを焚くと云ふのは喧嘩を賣はうの惡い洒落だ、サア、了見ねまへから斯く聲高に怒鳴りました、佃屋は 孫『アハ、然う望つて下んせ』と煙で相手に 『好い鹽梅に煙つて來た』と喜びながら酒を呑んで居りましたが煙の隙間から向を見て 政『オ、是りや荒浪關珍らしいな、此頃大分出入り場が殖ゑたさうで町人の多い四日市なぞへは廻つて來ねへぢやねかな好い所へ來た、サア、此方へ這入つて一杯呑め』平生贔屓にして與る四日市の佃屋主人、こうした遊びの方へ掛けた日にや町人でこそあれ諸侯同様の豪遊をする、梶『オ、是りや誰方かと存じたら佃屋の旦那はんでございましたか、僕う御無沙汰を致しますお目に掛け早々斯様のお願ひを致ては誠に濟みませんが仙臺の殿様のお供で尾張屋へ參つて居りますと、何處だか臭い匂ひがする止めさせて參れと大名の我儘、無理なことは存じながらお願ひに參りましたやうな次第』どうぞモウ臭い物を燃やすのは置いて戴きたう存じます』が……政『アハヽ、然うか、仙臺の殿様が餘り好い匂ひをさせるから、ツイ意地ッ張りの俺だに由つて臭い品を取寄せて燃やしたのだ』お主が然う云ふなら止めにしやう、早速止すぜ 梶『有難う存じます、どうか然う願ひたう存じます』政『皆な出せ〳〵、荒浪が頼みに來たのだから止めてやれ』皆『ハイ』サア皆さん漸くお止めになりました、政『然う云ふ臭さでしたらう何しろ天下の名香でも乾魚の燃したのには叶はねいと云ふのは名香なんと云ふ物よ根ッから詰らねものだなア』梶『恐れ入りましてござんす』と三杯の酒の相手をして梶之助は立戻つて參りました 殿『如何いたした梶之助……』梶『ハイ漸う臭みは止みましてございます、あれは日本橋四日市の佃屋と云ふ乾魚問屋の主人でございまして町人ではございますが偉い大盡遊びをする人で、始終此の劇場へ遊びに來て居ります、與ふて見れば長い間贔屓になつた客人で、直に話が分つて碎けて止めて呉れました 殿『アヽ然うか、如何にも是れは予も惡かつた、鄭五ケ町を我物顔に柴舟を焚いたのち考へて見れば好くなかつた、此方も止めやう、其佃屋何某と云ふもの、町人の身として大名に楯を突く氣質が面白い、如何も如何も同じ顔の家來ばかり召連れたのでは變つた話がなうて面白うない、其者に目通りを差許すに由つて、梶之助、同道をいたして參れ』町人と云ふものは利にのみ走るものだと聞いて居つたが、誠に面白い氣骨のある奴である 梶『ハイ、畏まりました』荒浪が再び來て佃屋に此事を云ふと商人も大きに喜んで衣服を正して早速にやつて來た、デ仙臺侯のお相手をする、拙覧い段々話をすると何うして却々話が面白い 殿『チト予の屋敷へも折節は見ゆるやうに』予もまた其方へ訪れるであらう』と仰しやつて大名と町人と女郎買友達で段々お馴染が重なつて、其後四日市の佃屋方へ六十二萬石の太守が百七十人からの供を從へてお遊びにお出でになつたことが二三回ございました、何んと天下の三大名の伊達の太守が如何にお馴染になつたからと云つて町人の家へ遊びにお出でなさる事と云ふのは言語道斷で斯んな鹽梅で吉原通ひも益々度が重なつて參つて今は晝夜の差別なく、現を拔かしてお出でになりましたが遂に高尾お身受けと云ふことになつた、是れも傍から渡邊金兵衞等一味の惡人共が頻りにお勸めをするのですから丁度發狂人に刃物でございます。

大掃除延期

潜水艦入港と大祭

一日以來大清潔法施行中であつた仁川は七日潜水艦の入港で爾三日間は觀覽市中の混雜共に祭禮側の多忙で監督者の繰り合せが附かず引續いて十日十一日は仁川神社の大祭と云ふので十二日迄延期する事となり六日此際未濟の區域に對しては一時中止しました

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城大平通二丁目 電話二二五八番

古莊試補視察

總督府内務局古莊試補は民情視察の爲十月三日來群同日午前群山府廳に府內內鮮有志者數名を招致し打合を爲し同日午後は沃溝郡廳に臨み郡內鮮人有志者數名を招集して民情を聽取する處ありたり(群山)

園田警部轉任

群山警察署詰警部園田文雄氏は今回江原道陰善警察署長に榮轉することゝなり不日赴任すべしと(群山)

十月十日

金曜日 (舊)八月十七日 ▲きのとひつじ 八白 ▲うしとら東北 赤口 ▲充 ▲おさん

▼八白▲何ごとの繼らぬ日なり ▼九紫▲旅行談等に好し又金錢の手に入るべき象ちある日也 ▼一白▲何物か得る日にして酒色さへ愼まば利益は相應にあり ▼二黑▲七八分通叶ふも十分は遂げ得ざるべく大抵に打切可し ▼三碧▲活潑にして綺羅美やかなる日なり交際上に注意すべし ▼四緑▲目下の事にて心配ある事や不知賴まれし事は熟考を要す ▼五黃▲得て病氣杯の起り易き日ソレさへ注意すれば萬事に吉 ▼六白▲名譽の揚がる日也或は選方より意外の便りあるや不知 ▼七赤▲名聲の高き日なれど勝氣に乘じ過ぐれば却て不可なり

梅毒も淋病も安全に治る

帝國醫科大學命製劑の名譽藥劑士赤井先生指導の下に當所の新作醫療者が研究せる藥化學療法は在來より行はる、自宅療法とは趣きを異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主として完成されたる現代に於ける最善良法なり

東京藥化學研究所 東京市本所向島小梅町

無代進呈 ハガキに病名を記し申込め彩色圖入解說書非賣品寄送

りん病

急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治迅速なり 藥價一圓四十錢 二圓七十錢 四圓 送料不要

ルーデサック 特製品

A 十個五十錢 廿個九十錢 B 十個七十錢 廿個一圓三十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 月經帶一個一圓 郵券(二錢)代用一割增 廿個以上送料不要

京城黃金町三 振替京城三二七二 山田文殊堂藥房

電話 本町二丁目本店 東京 電八五五番

演藝案内

壽館

本町二丁目 電一〇五〇

當る十月八日午後六時より 筑前琵琶旭扇會秋季溫習會 曲目▲赤垣源藏(子花)▲山崎合戰(子豐)▲重松中尉(子浦)▲宇治川(子晃)▲名殘の櫻(子成)▲錦の御旗(子念)▲村上喜劍(旭揚)▲橘中佐(旭提)▲川中島(旭史)▲湖水渡(旭迎)▲大高源吾(旭央)▲茶白山(菅公)(旭操)▲壇の浦(旭望)▲藤戸の渡(旭露)▲實盛(旭眞)▲項羽(旭翔)▲筑後川(旭子師)

喜樂館

有樂館改 本町一丁目 電五九七番

當る十月四日より特別大興行 ○○實寫『蜻蛉の發生』 ○○滑稽『骨折損』 米國ユ、エス會社特約品 探偵活劇『牧師の弟』全五卷 東京各新聞激賞本年九月完成品 日活向島新機械撮影小島孤舟先生作 新派悲劇『新橋情話』全五卷 新橋江戸館押しも押されせぬ流行妓の思ひ情人の兄玉に立つも操は黃金には厭な座敷で機嫌氣褄をとらねばならぬ江戸龍の胸に秘めた一ツの呼住人は薄命とか云ひますが我から急ぐ死出の旅路隅田の流れは盡きぬもこの恨みは永久に皆樣の涙をしぼらねば止みません ○一等五十錢 二等卅錢軍人學生半額 ○每日晝夜二回開館

大正館

櫻井町 日本活動寫眞會社代理店 電話八七三

十月五日より秋季特別大興行 ▲滑稽劇『假大使』長尺 ▲實寫『砂金採取の實況』長尺 米國ヴァイタグラフ會社高級映畫 東歐情話『銀彈』全七卷 ブリューリボン特作品にして米國に於て美人投票に第一等の榮冠を得たるアニタステュワート孃の出演劇にして有名なる『銀の砲彈』は即ち本映畫にて舞臺は露西亞の秘政と禁獄の慘酷全篇凄愴の氣滿つる深刻なる人情劇 日活會社最新大撮影 ▲舊劇『浦里時次郎』全四卷 ▲明烏夢淡雪 傾城に身を落し朝に夕に源平藤橘の浮川竹の水底にこそあれ元は由緒ある武士の娘のお浦さと時次郎の戀仲は如何なるロマンスに依るか ○吉原揚屋雪の段 新內出語り ○每月一日十五日日曜祭日晝夜開演

痛を止め 膿を去り 尿を通ず リン病 アラビ藥 複方タルリン

本劑は如何なる重き痳病と雖も之を用ふれば直に其効現はれ又患者適宜に溶解し用ふるものなれば腐敗の虞なく且携帶に便なり

商標 サウギ印 注意

價 二十五錢、五十錢 七十錢 壹圓

本舖 大阪市堂島元船橋 高橋盛大堂本店

同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店

發賣 東京市神田鍋町 高橋盛大堂出張所

●到る處の藥店にて販賣す

贅澤で經濟で、而して最も優良な ○三百番香水

各種均一 小壜入五十錢 中壜入壹圓五拾錢 大壜入貳圓五拾錢 內地以外は郵税實費加ふ

(現品寫眞圖)

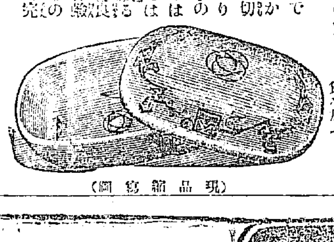
ヴァ井オレット(すみれ) ローズ(ばら) リリー(ゆり) ムゲット(花の名) ミモーサ(花の名) ブーケー(花たば)

三百番香水は優雅な香で長い時間香を保つもので香は人によつて、嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを選んで、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。香水は折角高價な物を携へても、其香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一種毎に小壜の見本を添へてあるので、選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なものになつてゐる。

體裁優美高尚にして理想的の ミツワ石鹸容器

定價 金貳拾錢 內地以外は郵税實費加ふ

從來の石鹸容器は、大抵金屬か陶器ですが、價格が高かつたり、構造が惡かつたりして、或は錆を生じ、或は水切がよくない爲に、石鹸が溶け崩れたりする缺點が多いのであります。此等の缺點を考へて完全に製造されたものはミツワ石鹸容器であります。陶器ではあるが、品質は極めて堅牢體裁は優美、以上の缺點は毫末も無く、斯の如き品質を具備してゐるミツワ石鹸の容器としては最も理想的適當なもので、家庭用、浴室用として、極めて完全優秀なものであります



(現品縮寫圖)

○ミツワ水枕

純案特許――純國產品――宗田商店謹製

凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず

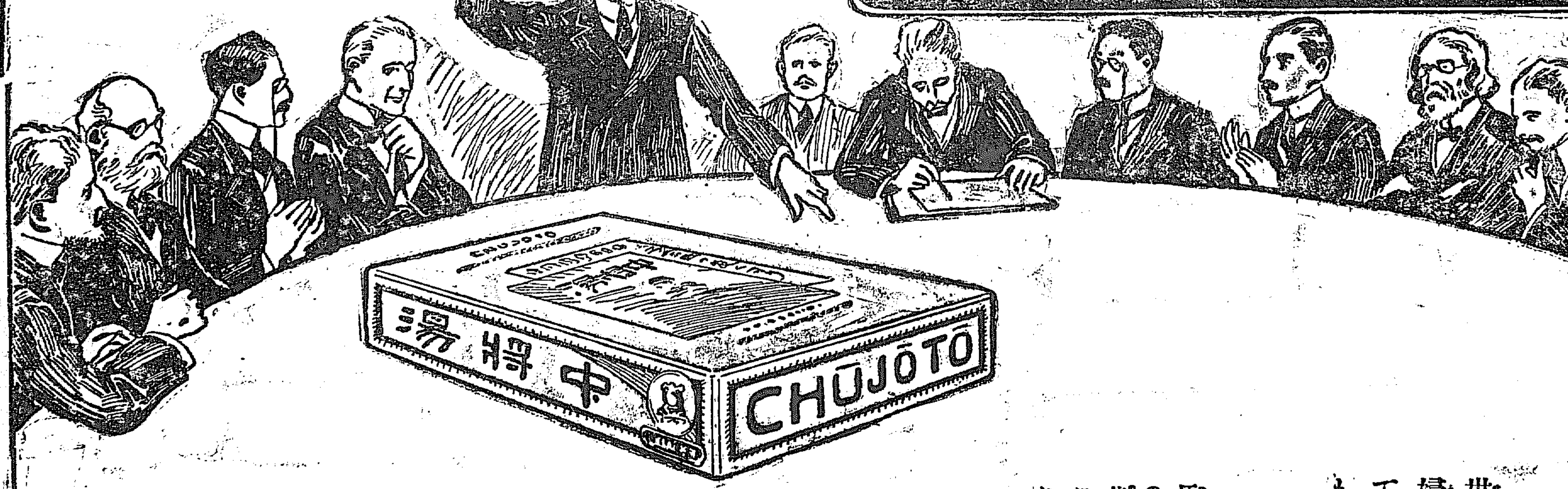
定價 大形金壹圓八拾錢 中形金壹圓五拾錢 小形金壹圓貳拾錢 內地以外は一割郵税實費加ふ

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです――學生が勉强して疲れた時なぞ水枕をすれば忽ち元氣回復します――其水枕の中でも特に完全な水枕は◎ミツワ水枕であります。

◎ミツワ水枕は枕の內に割壁を設け中へ氷水を入れると自然に凹形になるやうに製してあります。故に兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷やす力が最も完全で、締金も又多年苦心の結果漸く案出したもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります

(特製縮寫圖) (大形縮寫圖)

萬国婦人藥會議



議決

世界の凡ゆる婦人藥中に於て中將湯は最も優良也。

理由

原料の高貴なる調劑の精妙なる而して効能の顯著なるは遙かに現代醫藥を凌駕すれば也

定價改正に就て

中將湯は從來犧牲的精神を以て價格維持に努め居候處近年和漢藥(殊に振出し藥)謳歌復興の結果原料暴騰を重ねて需用供給の圓滑を缺ぐ事甚だしく加ふるに工費諸材料も倍加致候爲め今回已むを得ず前記の如く定價改正致し候間何卒右御諒承の上倍舊の御愛用願上候

中將湯主治効能

逆上頭痛	癪高ぶり	子宮病	こしけ
眩暈腹痛	腰背腹痛	血の道	血ぶさり
氣ふさぎ	月經滯り	つはり	臨月分娩後
腰足冷込	内臓執	夜眠れず	月經不順

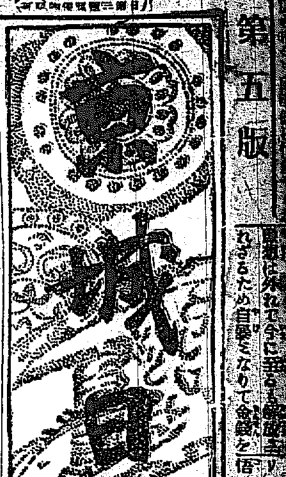
新定價と容量

金貳拾錢	一日分
金四拾錢	二日分
金壹圓	六日分
金貳圓	拾三日分
金參圓	廿日分
金五圓	卅五日分
金拾圓	七拾五日分

東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二・六三・五六三・六番 振替東京大〇八番

大阪市大寶寺町堺筋 津村順天堂支店 電話南二五番 振替大阪四五六番

第五版



(年中無休刊)

本紙定價 每號一部金四錢 壹ヶ月金[illegible] 廣告料金 五號十四字詰一行一圓五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 長六千九番 振替京城三〇〇番

京城日報

驛屯土の由來(下)

以上略述せる沿革を見るも、驛屯土の國有たるべきは極めて分明のことで、一點疑義を挿むべき餘地なきにも拘らず、古來此土地に關する紛爭苦情甚だ多く、未解決のまゝに併合後に引繼がれたもの少くない。それはいふまでもなく制度の紊亂に伴なふ國有地私有地の混合紛雜より來るものにして、官邊の簿冊には立派に國有となつて居ても、反對の證據を詳密に調べて見ると、それが全く民有地で、前に擧げた通り、脫租のため屯土たるを假裝したものや、又は當時の役人共が居民と結託し、いゝ加減にコマカしたものもあつて、なか〳〵以て混雜至極である。然し是等の爭案件は土地調査の際に大抵解決を告げた筈で、現在では國有民有の爭ひは最早絶滅したらうと考へられるが、其の所在地の人民として、是等國有の肥沃の田畓に對しては、進みて適當の方法の下に拂下を望むは無理のないことにして、當局者も亦之を諒として居ることは吾人の信ずる所である。

さて現在の驛屯土は何程の面積あるかといふに、全道十三道を合計して、田一億四千九十三萬餘坪、畓一億二千三百萬餘坪、垈約九百五十萬坪、其他八千一百五十五萬餘坪。總計三億五千二百一萬五千九百五十坪、此の町數五十九萬三千五百七十町にして、其の小作料即ち驛屯賭收入なるものは百五十一萬圓餘。總督府としては一歳の收入で、今時價を以て其の全部を拂下るとせば、少くとも一億圓以上の巨額に達すべき計算であるさうだが、此の巨額の拂下金は果して其地方々々に於いて調達し得るであらうか、好し拂下の土地を抵當として一時殖産銀行等より融通し得るとするも、此如き廣大なる土地を一時に拂下げて、地價を暴落せしむる如き惡影響を起すときは、朝鮮の土地所有者に大なる損害を與ふること、なるから、當局に於いても餘程慎重に考慮して、著大の變動を起すことなく、且つ適當の融通方法を設けることに就いて講究を進めて居るだらうと思はれる。更に又一個の講究を要すべき問題がある。それは他ならず此の十一萬町步に餘る驛屯土の内は、之を全部所在地鮮人に拂下ぐべきか、但しは內地より移住民を招徠するの資に供するか、はた二者併用すべきかといふことである。從來驛屯土に國有未墾地利用法を並用して、東洋拓殖會社等に拂下げた例もある由なるが、是は至極便利の方法で、啻に移住民の利益たるのみならず、國家の大計より見るも至極結構なことゝいはなければならぬ。然し此の事に就て餘り細論するは目下面白からざる事情あるが故に、暫らく筆をこゝに止め、他日の好機を期することゝする。

朝鮮歷史古蹟調査に就て(四)

京大教授 三浦博士(談)

壬辰役、滿洲の寇侵せし時、都大將は尙容が王の廟に火を放ちて逃れしことなどあれば也。聞く、近世に至る迄地方の郡守は更迭の際、自家の秘を私に湮滅するの意より在任中の公用文書を擧げて家に藏し私用に供せりと。然らざるも鮮人の生活上缺ぐべからざる温突の張板紙其他屛風の下張などに利用せられたるもの亦必ず多かるべし。朝鮮の古墳盜掘と加はりて鮮人こそ遺物史料の堙滅者と云はる。も殆ど[illegible]の稱なからん。朝鮮には今尙倭寇とか倭將秀吉などの文字を刻せる碑文の存するものあり、往事は深く咎めずとするも併合の今日に於いて是れを見るは統治上決して好ましきことに非ず。彼の朝鮮の仁祖王が淸の大宗に降服して、漢江東岸の三田渡に壇を築き三拜九叩頭の禮を行ひし後、更に同地に建てたる淸帝の恩德を謳歌せる碑は日淸戰役に依り日本が淸國を屈服せしめて朝鮮を獨立國となしたる後、時の韓廷は是れを破却せるに非ずや。此の筆法を以てせば、是等の不穩不當の文字ある碑文を撤回するも何の不可なき筈なり。然るに今日に至る迄總督府は未だ一も是れを撤去せるを聞かず、動もすれば不逞の徒の爲めに惡用せらるゝ獨立門の如き亦然り。是等の舊時代の遺物を今日に保存するの可否如何は固より高等政治の範疇に屬すれば自ら別問題なるも、總督政治が古蹟若くは歷史を埋滅せんとするなすが如き誤解の根柢なきは識者を俟たずして知るべし。されば鮮人たる者總督府の古蹟調査事業に對しては朝鮮古文明の誇としても是を助成こそすべけれ妨碍すべき謂なし。但將來の古蹟調査が鮮人中から斯道に[illegible]士を參加せしむるこ[illegible]編纂に於けるが[illegible]鮮人の誤解を避くる[illegible]も望ましきことなるべしと思はる(終り)

第十八 又意外

芳三郎は其の夜明くるのを待兼て、電話で聞き合せて知つた井上の宅を四谷の箪笥町に訪ねた。井上は四五日前に他行したきり未だ歸つて居らぬ。固より刑事巡査の一々用先を家內の者に告げる筈もなく、從つて何時歸つて來るかも分からぬ、芳三郎は詮方なしに一應歸宅し、午後再び尋ねたが依然として消息を得ない。

一方砥上の容態は益々險惡に赴くばかりである。

『芳三郎君、已むを得ん、之が僕に定まつた運命なんだらう』

『忠雄さん、最早心配なさらなくつても冤罪が解けたも同じ事です』

口には言へど心には酒井の言葉がどうやら氣になつてならず、彼の口振りでは果して犯人が上がるか否かも疑はしい。早く井上に逢ひ度いものだと氣も不覺に落付かれないのである。

芳三郎は翌朝又早々から四谷の箪笥町に行つた。

井上は今朝歸つたといふ市內電報を新橋から自宅に寄越したばかり顏を見せない。兎に角東京に歸つて來たに違ひない。多分警視廳に其儘出勤したのだらうとの事である。

芳三郎は其足で直ぐ警視廳に行つた。ところが、先刻、地方裁判所から電話を掛けて歸京した事を報告して、未だ當役所へは顏を出さないとの事である。芳三郎は三度足を轉じて地方裁判所にと走つた。受付で井上と云ふ巡査部長が來てゐないかと尋ねたら、今門を出て行つた背廣を着た男が井上だと敎へられ、大願成就と汗を拭き〳〵門口にて其の人を追駈けた。

『ちよいとお伺ひ致しますが、若しや貴郞が井上さんと被仰いませんでせうか』

呼掛けられた井上は突然の事と云ひ、相手の樣子が如何にも狼狽へてゐるので頗に返辭も出ず、相手の顏を打見守つてゐる。芳三郎は別に人品に於て賤しき所なく、服裝も調つてゐるけれど、前額よりは流汗淋漓として何となく不安の念に襲はれてゐるが如く、其の態度が尋常でないからである。

芳三郎は越後の村長の肩書ある名刺を出した。

『私は砥上芳三郎と申します、文部省にゐました砥上忠雄の親戚の者で御座いますが、忠雄の件に就きまして、折入つて御意を得たい事が御座いますので、場所柄をも考へず、お引留め申した次第で御座います』

井上は始めて面を合せたが、彼は日外砥上の出獄の砌、差入屋で涙を隱して、聞いたは此人の言調であつたと心に頷いた。

『さうですか、之は初めてお目にかゝります。私は井上常太郎と申します、大變忙しい用件を帶びてゐますが、砥上さんのお話しとあらば、お話の趣旨丈なりとも伺ひませう此處は人眼にも付きますし、[illegible]所に參りませう、構內の辯護士控所へ參りませう、未だ時間も早く誰も來てゐないですから。』

兩人は門內に引返して辯護士控所に這入つた。

『砥上の件に就きましては、貴方ならぬ御盡力に預りまして誠にお禮の申し述べやうも御座いません。』

『どう致しまして、併し何誰からお聞き及になりまして?』

『實は新聞でちらと拜見致しましたので』

『どうも新聞なんかに早くから素破拔くので困ります』

『やはり新聞にある通り小使が橫領したので御座いますか』

『新聞の記事なんか當にはなりません。尤も當初は私共迄さうかとは思ひましたが』

『人の風評の如く小使ひの千圓は本當に債券が當つたんですね』

『さうです、今は疑ふ餘地はありません本人の申し立てに依る債券の番號から、受取つた銀行まで調査しましたが、全く事實でした、そして本人も敢て逃亡した譯でなく、備後の尾道に歸つて雑貨店を開き相當に行つてゐます。』

〔雜誌抄〕

▲猫の皮(畜産工藝) 猫の皮はお孃さんやお婆さんの懷の內で大事に育つた猫のでない、上等物は田舍の、ありふれた野良猫のやうに多數一緒に放し飼ひされたものでは自然喧嘩をする、互に引掻いた爪の痕が殘る、さなくとも皮膚に多少の傷がつく、斯やうに傷や爪痕の少しでも殘つてゐるものでは、到底完全な皮物にはならぬさうである、又年齡からいふと一歳未滿の雌猫が良い、一歳になつた許りの雌猫なれば最も上等である、即ち皮が薄くて纖維が細かく且つ分娩したことがないから乳房も充分發達せず、張り皮として は振動の工合が頗る良い

增大 平和 十月號
原首相の少年時代 世の荒浪は拾歲の秋から襲ふ…子爵[illegible]
銀行會社配當一覽
手頭狗肉の出版界…[illegible]本松
改惡せられたる世界の現狀…子爵[illegible]
壽福山の莊閑談
女乞食は國の譽
名古屋の[illegible]
箱根關所物語
大正八年東京大阪總力士星取表
創作 果知らぬ果
人類絕滅
名盜ルパン傳
美人賊蝮のお千代…みどり
繪の見方手引草 畫壇事情
文展を見る人々に其一部を薦む
定價四拾錢 送料二錢
東京本所橫網町 振替東京七二六六五(竹內顯也宛) 平和社

奥野他見男著最新刊
君と僕ようか五千石とろか
新形上製美本定價八十錢 三百二十頁 送料金八錢
凄まじき哉
初版再版三版四版五版六版七版八版九版拾版拾壹版拾貳版拾參版 以上賣切れ!! 以上本日製本濟!!
◎讀者は其面白さに驚愕し
◎書店は其賣行に驚愕す!
◎流石は他見男さん天下一品也!!!
文名社發行 發賣元 敬文館 東京市小石川區[illegible]町 振替東京一二三三六
[illegible] 大阪屋號

增島信吉先生著
高い山から谷そこ見れば
定價金[illegible] 送料金八錢
忽二十版

大好評忽再版
會社目論見書の見方
由來會社の內幕に[illegible]する者少からずと雖、本書の使命は目論見書に依つて事業の善惡、收支の適否、設立者の當否を判斷し投資家の顧問として[illegible]
發行所 東京市京橋區南鍋町二丁目 中外經濟社 大阪 盛文館

雄辯 秋季倍大號
政治革命と經濟革命 永井柳太郎
過激主義批判(露西亞のボルシエビキ主義を徹底的に批判を下せる物) 室伏高信
經濟問題の根本問題 法學博士森本厚吉
現代三大鬪爭と我國策の建設(主として社會主義に就いて) 土田杏村
勞働問題の意義(生活問題と道德的改造) 帝大教授 大島正德
社會主義の人々(日本社會主義者を片つ端から解剖せる物語) 河畑雄彥
特別大附錄
金魚經 本卷 北原白秋
まよひ 正宗白鳥
長い戀仲 宇野浩二
二四徒 宮地嘉六
遊動圓木 葛西善藏
徒勞の日 谷崎精二
へぼ胡瓜(漫畫) 岡本一平
理想兵衞 法學博士 中村進午
坂本龍馬 碧瑠璃園
現代の病的傾向 中村古峽
民衆的文學と局部的文學 島木赤彥
故箕作博士 中村孝也
物價調節策 法學博士井上辰九郎
文化主義の改造 野村隈畔
孰れが危險思想 田中純
永遠の鬪爭 柳澤健
露西亞と日本の對照(祖國果して安泰なりや) 文學博士谷本富
恐怖の鬪爭と歡喜(氏最近の大論文) 堺利彥
恐怖・歡喜・鬪爭
鬪爭今や誰ならんさし萬人悉く恐怖に戰く何時か我に歡喜來る
定價金八拾錢 郵稅三錢 大日本雄辯會 東京本鄉 振替東京[illegible]

最新刊
▲西伯利亞一班 朝鮮滿洲社編 定價三圓五十錢 送料十二錢
商法學理第一卷 寺尾元彥 二・五〇 一二
儒學年表 今關天彭 二・三〇 一二
小學教科書の話 一・〇〇 六
▲須磨子 菊池幽芳著 定價二圓五十錢 送料八錢
ヘツリー大世界內遊記 一・八〇 八
株式取引所 丹羽豐 一・五〇 六
▲子供の性質 服部北溟著 定價貳圓 送料八錢
中島紀念論文集 五・〇〇 二七
契約書式大全 谷正司 一・五〇 八
デカルト方法論 二・六〇 三
▲大朝鮮新地圖 定價一圓五十錢
イボタの蟲 中戶川吉二 一・四〇 四
[illegible] 五・〇〇 一八
京城本町一丁目 大阪屋號 電話[illegible] 振替京城[illegible]

法人登記

龍仁金融組合登記中變更 大正八年拾月當日主タル事務所ヲ左ノ通リ移轉シタリ 京畿道龍仁郡水餘面金良場里八拾貳番地

大正八年十月七日登記 京城地方法院 金良場出張所

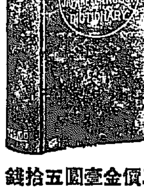
謹告

今般當社代表社員高瀨政太郎死亡致候ニ付代表社員ヲ福永政治郎ニ變更致シ候間此段謹告仕候

大正八年十月六日

高瀨合名會社

最新刊
紳士學生用和英辭典
袖珍和英辭典
神田乃武先生 石川林四郎先生 共著



正價金壹圓五拾錢 送料六錢
從來如何なる和英辭典も試みざる集約的簡約法は本書の一大特色とする所なり
發賣 東京神田 株式會社三省堂 振替東京三一五五五

解放 十月特別號
特別記事 最近勞働運動の嚴正批判
勞働者は如何なる要求をするか…安部磯雄
運動の反省點…戶田博士
勞働者の類別…堺利彥
眞實にして而して寬容に…賀川豐彥
具體的に取極めよ…三宅博士
運動者に對する希望…神戶博士
民衆の世界改造(世界の改造は特權階級の手を離れ民衆自身の手に俟たざる可らざるを痛論せる長論文)…早大教授木村久一
經濟生活の解放(三)…森本博士
ルウヂンよりバザロフへ…大西教授
黑人の解放論…北澤教授
時評 ◇時代思潮と軍隊◇調和使節歸る◇友愛會の面目一新◇伊國の國交を害する言論の美辨◇高師の現代科設置◇森村翁の死◇同志の暗鬪
婦人欄…山川菊榮
海外時潮
權力階級と流行…孤劍
唯物史觀の改造…高畠素之
勞働運動を評す…山川均
可憐なる製絲工女…丸山幸光
變態心理日記…沖野岩三郎
帝都大學新進教授(北澤教授)月旦
具體的文化としての自由(時代思潮に對する指導的見地の文化哲學論)…野村隈畔
秋季創作大附錄
お千代と其の母…宮地嘉六
風聞…葛西善藏
腦病院の庭…中村星湖
ボオドレエル散文詩…谷崎潤一郎
春の心臟…芥川龍之助
寢顏を眺めつゝ…沖野岩三郎
大野一家…正宗白鳥
鎖(最近の勞働問題に取材したる脚本)…中村吉藏
新秋美術界評論…[illegible]
有馬武郎論…篤夫
旅の窓より…荷風
大鐙閣

黎明講演集 第一輯
國際市に就て 法學博士 穗積重遠
人生の上より保守自由 內ヶ崎作三郎
日支の相互諒解 法學博士 吉野作造
消費方面よりする社會改造 高橋誠一郎教授
エホバとカイゼル 法學博士 福田德三
東京京橋區 大鐙閣 大阪 振替東京三六一八

優等賞受領御披露

謹啓 秋冷之候各位益々御清榮奉慶賀候陳ば今回京畿道第二回釀造品々評會開催相成候處弊店釀造醬油(合印)は幸に優等賞を得候是全く各位の深甚なる御愛顧の賜と奉感謝候就ては今後一層努力勉勵可仕候間倍舊之御引立の程伏而御奉懇願候

大正八年十月九日

(合印)醬油釀造元 京城本町三丁目 田中支店 電話七六四番

▽疾病の根治と健康の增進を望む人に△
オキシデアテルミー
OXYDIATHERMIE
酸素透熱療器
醫學博士考案の本器は酸素と熱電の力に依り空中の酸素を自在に身體に攝取吸收せしめ血液の循環を盛にし諸機能を活潑にして眞に諸疾病を根本的に治癒す故に一度本器を使用すれば呼吸は深大となり食慾は增加し次で食慾の亢進、兩便の快通、疲勞、鎭痛、安眠等を來し神經に生理本能を回復す然も電氣の如き不快の刺戟なく效力永久使用簡便なり
▼定價 家庭用金貳拾七圓(送料卅六錢) 營業用金參拾七圓(送料六十二錢)
(實驗說明書進呈)
東京市芝區南佐久間町二丁目一番地(電車道) 合資會社オキシデアテルミー商會 電話新橋一五二三番・振替東京三九五七一番
▽代理店希望の士は申込まれよ!!

米國 西伯利守備要求

擔當區域を我に守備せしめんとす

西伯利鐵道守備に關し日米間に紛議起りたるが米國は最初米兵撤退後其擔當區域を日本軍をして當らしめんとしたるも陸軍側は承諾を避けたより米國はモーリス大使をして日本政府並に軍司令部に二個の最後通牒を發せしめ若し要求にして容れられずんば西伯利鐵道經營に關し日本との共同を絕つ可しと云へり(倫敦電報)

ウイルソン氏容態

ウイルソン氏は四日の夜の容態は佳良なりと(華盛頓發電)

留保案可決されん

米國上院に於ける講和條約修正案はタフト氏案優勢にして結局留保可決されん(紐育電報)

聯盟會議召集

獨逸國下院は國際聯盟會議召集動議を可決せり(巴里電報)

獨逸の飛行機

聯合國に引渡す獨飛行機百七十臺は和蘭に到着せり(倫敦電報)

獨逸駐日公使

獨逸は駐日公使詮衡中にて日本の批准迄に決定せん(倫敦電報)

土內閣總辭職

土耳古內閣總辭職せり(倫敦電報)

滿洲と鮮人取締

吉林督軍へ國務院よりの返電

吉林督軍等の問合せに對し國務院は五日返電し黑龍江省吉林方面にて支那人が朝鮮人の獨立運動に干與するものに對しては行政處分を適用せよ又不良鮮人を强制的に退去せしめ尙ほ同地方に日本が警察を設くるの件は拒絕せよと命じたりと(北京特電)

西藏問題と英支

最近駐英支那公使施肇基氏よりの電報に依れば同公使は英國外務次官に謁し西藏問題に付き目下支那國內の議論甚しき狀況を述べ英支間の議判を當分延期の却つて得策なるを述べたり英政府は其の意を諒とせる模樣なりしを以てジョルダン公使にも從來の態度を改めしむる訓電を發すべしと(北京電報)

日支の對露方針

日本政府及び支那政府は對露國方針に付きて一致の態度を執るべく目下交涉中なりとの說あり(北京特電)

希臘より御贈勳

希臘皇帝より我天皇陛下に最高勳章サボールを捧呈せらるるに付八日午後十時三十分同國公使ヴェニサス氏は西門より參內鳳凰間にて岡田其他式部官侍立の上勳章を捧呈し一旦退出正午豐明殿にて御陪食仰付られたり(東京特電)

農事會社進捗

朝鮮農事改良株式會社は目下藤井上角五郞氏等の發起に係る朝鮮總督との間に交涉開始され條件協議段取りに迄進み居れるが營業目的は開墾灌漑排水其他農事關係の業務にて資本二千萬圓年七朱の配當保證債券發行等の特典あり(東京特電)

海軍の大演習

海軍大演習は十一日より開始すべく其の規模の大なること空前に屬せり(北京電報)

大橋大佐轉任

七日附辭令を以て左記の通り發表ありたり(東京電報)

朝鮮憲兵隊長 憲兵大佐 大橋又三
任名古屋憲兵隊長

德川公支那行

德川家達公は十四日東京出發滿洲を經て支那漫遊す(東京電報)

郵貯利上せず

郵便貯金利子値上せず(東京電報)

十四師團の戰況

西伯利の我十四師團は六日トムニシキナスホナにて敵軍と衝突して之を擊退せるが我軍も戰死者十九名を出したり(哈爾賓電報)

織物檢査開始

…當局は本月一日より輸出組…範圍極めて狹小にして廣く完全に檢査を勵行すること能はず…業界も漸く快復の機運に向ひたれば今後は必ず各國と競爭せざる…聯合會を組織すると同時に當局も亦本月より嚴重なる檢査を勵行する事となりたる次第にて其…

細野技隊勇戰

第五師團細野技隊は九月二十八日シクカ溪谷に於て優勢なる過激派軍と戰ひ之を擊退せるも我小銃隊及機關銃隊全滅し戰死者三十一名を出し敵軍又死傷六百を遺棄して潰走せり(哈爾賓電報)

新艦建造計畫

尨大なる海軍省要求

帝國海軍の國防方針として策定せられたる海軍力即ち八八艦隊は戰艦十六隻巡洋戰艦八隻を基本とするにあり之が實行期に關しては第四十一議會に於て加藤海相の說明せるものゝ外具體的に表したるものなく部內に於ても帝國の地理的關係及び國情とに鑑み種々の議論ありたるが最後に於ては調査攻究の結果完全なる

八八艦隊 卽ち第一期艦齡の戰艦及び巡洋艦各八隻より成る精銳を以て主力艦一隊完成後更に進んで新艦建造の計畫を樹立せんとするもの・如く明九年度豫算には此意味により大正十二年度を完成期とする既定計畫の所謂八六艦隊を更に完全なる八八艦隊に變改すべく來る十一年及び十二年に於て第一期…如し之に對する海軍當局の態度は頗る堅く之が遂行に努めんとする意氣込あると云へば今後の交涉により多少復活を見るやも知れざるも大體に於て財政當局の削減は免れ難き情勢にあり今にして完全なる八八艦隊一隊をも有せざるは國防上に缺陷を生ずべき所以なるを以て

軍事當局 として此際萬難を排して之れが遂行に努力するは當然なり而して現在海軍に於ける造艦狀況を見るに吳工廠に於て建造中なる戰艦長門は時局の影響を受け工事遲延せるも來る十一月下旬橫須賀工廠の姉妹艦陸奥は戰艦扶桑、山城及び巡洋戰艦榛名、霧島の諸艦を合し戰艦二隻巡洋戰艦四隻及び之に屬すべき奇艘艦と揚子江警備の用に充つべき河用砲艦若干隻の軍艦製造費を明治四十四年以降の既定繼續費に

追加計上 要求し大藏省に於て目下査定中なるが海軍の要求は軍艦製造費の外八八艦隊建造遂行に伴ふ諸設備卽ち造艦能力增進に要する水陸設備費並に既定計畫に對する物價騰貴による增費等あり其總額頗る尨大なるより大藏當局は財源の關係及び外交方面に於て軍備制限問題に鑑み反對なるため之に大斧鉞を加へ僅に巡洋戰艦二隻の建造費を承認するのみにて水陸設備費も亦相當の削減を行はんとする來春三月進水の豫定にて未起工の加賀、土佐の兩戰艦は今八年度末迄に製艦材料を蒐集し着手は神戶川崎造船所…長崎三菱造船所に於て何も艦骨の据付をなし起工に着手する筈なり又第卅九議會の協賛を經たる巡洋戰艦金剛比叡の二艦天城赤城の二隻は如上長門、陸奥兩艦進水後の船臺に於て起工すべく第四十議會を通過したる巡洋戰艦二隻卽ち愛宕、高雄姉妹艦の建造所は尙未定なるも多分川崎、三菱兩私立造船所に

下命建造 せしむることゝなるべし而して戰時中は製艦材料の如き時局の影響を受け輸入不可能の狀態にありし爲製艦工事著しく遲延せしも戰後此等の材料品の輸入可能となり製鐵所の鐵材供給も潤澤となりたるを以て明九年度の豫算に於て巡洋戰艦二隻を建造することゝなるも海外に註文を發する迄もなく內地製艦主義により既定計畫に屬する他の艦艇全部と共に國內に於て建造する方針なりと云ふ(東京)

鹽產增加急務

關屋東拓土木課長談

過般來關東州方面に出張中なりし關屋東拓土木課長は七日夜歸任せるが予の出張理由は關東州に於ける塩田視察及び

新に鹽田を起すに適地 多しとの情報ありしため出張したるものなるが從來同地方は氣候の關係上最も鹽の生產に適し雨量の如きも朝鮮內地に比すれば極めて尠く空氣濕度の點に於ても二三度乾燥し居り且つ蒸發に於ては三割の多きにて殊に降雨の時期最も鹽田に好適し居る狀態に有り目下の處山東に於けるが如き自由競爭も無く實に有望地として一般に囑望されつゝあり東拓が今後同方面の干潟地を利用し鹽田開始の計畫を立つるや否やは玆に斷言するを得ざるも現下我

國鹽產額 の趨勢上當然此方面に意を用ゆべきは目下の急務として希望する處なり卽ち我國鹽の需要高は年々增加し之が供給は益々不足を告げ行く狀態にて大正八年度消費豫想の如きも十八億斤を以て數へられ就中七億斤は滿洲青島安南方面より輸入を仰ぎ居る有樣なり惟ふに鹽問題は米に次ぐ重大問題として近時當局に於ても此點に留意しつゝあるは事實にして更に鹽田開始希望者は關東州の如き總てに適し居る土地を選むが可なるべし

滿洲教育の完備

守屋茨城縣內務部長談

滿鐵學務課長兼衞生課長より茨城縣內務部長に轉任せる守屋源次郞氏は七日赴任の途來城せるがその談に曰く

滿鐵の諸事業は鐵道と云はず總てに於いて積極的施設の要あるべく滿鐵會社の如き特種會社にありては殊に其要を認む余は今夏七月着任在任僅に三箇月にして全くコレラ防疫の爲め赴任したる如き有樣なり着任の當時は奉天の如き警察官僅に三十二名にてかゝる少數にては到底高等警察や其他衞生や手の廻り兼ぬるべくもなかりし今次の如き猖獗なる虎疫に際しては其の戶別衞生狀態豫防注射の勸說等一に警察の力によるよりは之れを警察官の努力に俟つ所多きを實地に切に感じたり衞生以外教育方面に於ては大連又は其他主要地に高等工業高等商業學校師範學校等女學校の新設及び增設其他南滿醫學堂の大學昇格等も計畫し總豫算額約二千萬圓を要する見込みなり滿鐵沿線に於て就學兒童は年々卅級づゝの增加率を示せり從つて小學教員は少くも三四十名宛の增加を要する譯にて師範學校增設の必要あり又高等女學校を各主要地に增設新設するは最も急務とする所にして此等機關を完備せしめ滿洲に於ける婦女子は滿洲に於て教育し滿洲に於て家庭を作すの要を認む今次朝鮮に來りて朝鮮の鐵道狀態を見るに車輛の新しく且掃除の行屆ると引き又從業員の作…

大阪財界便り

社外船主勢力

休戰以來海運界の大打擊と共に各船主の勢力にも移動を生じたるが從來の野造船三井物產汽船郵船川崎汽船等の一般船主と認め難きものを省きて最近の調査に依る一流の社外船主は左の如し

法人の部

船主		船數	噸數
東京	山下汽船	二三	六萬噸
神戶	勝田汽船	一二	五萬四千噸
同	內田汽船	二三	五萬噸
西宮	辰馬汽船	一一	四萬四千噸
大阪	岸本汽船	一二	四萬噸
長崎	橋本汽船	一〇	四萬噸

個人の部

船主		船數	噸數
朝鮮	中村精七郞	一五	二萬四千噸
西宮	八馬永藏	六	一萬六千噸
小樽	犬上慶五郞	七	一萬一千噸
大阪	尼崎伊三郞	一〇	七千噸
函館	前田利一	七	五千五百噸
同	藤山要吉	八	五千餘噸
東京	中村萬之助	六	五千噸

正金爲替影響

橫濱正金銀行が外國爲替手形を買出せしより好個の放資物なりとて各銀行の買入れをなせしもの頗る多く爲めにコールの遣り取り大いに減少してビルブローカーの仕事にも影響を被りしもの少からざるが地方銀行が從來遊金を豫けて居りし中央銀行又は大銀行に預け入れ來りしもの之を回收して該爲替手形の買入れに振換しもの少からざれば自然中央部市の銀行預金にも影響を及ぼせしと

棉花商不得意

棉花は歐洲に於ける紡績工業の充分恢復せざると共に休戰後豫想程の需要起らずして諸物價昂騰の趨勢に反し價格の昂騰を見ず又內地に於ける綿花商は競うて紡績會社へ棉花を賣込むを以て自然紡績會社に叩かるゝの氣味ありて營業成績面白からず棉花商にして綿絲の思惑をなさゞる者は目下何れも不得意の境遇なりき

質屋法改正案

…を促進するに至るべし(東京)

…置入の權利利益を保護せんとするに在るは勿論なるも質屋營業者に對する保護にありては彼の…建議若くば請願の趣旨を參酌し…て營業者の權利並に利益を認め…るものにして…の例を認めたる事等其主なるものなり(東京)

鮮滿片々

蠶飼補助金下附

全北稚蠶共同飼育所は今回設置されたるものを合せて三百三箇所に達したが今回總督府から稚蠶共同飼育所に對し六千四百四十五圓の補助金を下附せられた(全北)

井邑米穀所新設

井邑に於ける米穀商連は發て米穀檢査所設立方認可申請中であるが目下事務所に充つべく千三百圓を投じて驛前に十二坪の家屋を新築中である(井邑)

鎭海煎子界

鎭海水產會社市場に於ける去九月中の煎子界は八月に比し稍況を告げたるが中務の一萬四千三百二十四圓を算し前年に比し一萬七千貫一萬千八百二…

樟腦と本邦

獨占するセルロイド

全世界に於て樟腦は日本と支那のみなるに支那は其產額極めて僅なるのみならず我製產品に比し粗惡にして云ふに足らざれば日本が世界中に於て獨占的產出國と云ふべくして近來歐米に於て頻りに歡迎し來れるセルロイドは專ら我輸出樟腦の如何により死命を制せられ居れるに之れが非常の影響を受け漸次增加しつゝありて當局にては代獎勵に苦心しつゝありて物價及勞銀の騰貴に打擊を受け何等效を奏せざる由なり(大阪)

朝日酒類改革

灘の酒

朝日酒類株式會社は資本金百萬圓にて酒精合有の酒類リキュールウイスキー味醂燒酎等の醸造販賣を營み居れるが其の約半數は御影の酒造家小網與八郞氏一家の所有にて殘餘の株數は小網氏の親戚並に山邑氏に依て所有せられ居れるも經營宜しきを得ざれば利益を見る能はず今回小網氏の持株を山邑氏に於て讓受け山邑太右衞門氏の經營に歸せりと

海南倉庫計畫

和歌山縣海草郡の酒造並に醤油製造業者十數名の發起にて資本金三十萬圓の海南倉庫株式會社設立を計畫し總株數六千株の內四千五百株は發起人にて引受け殘餘の一千五百株は同縣下にて募集中にて創立の上は野上輕便鐵道驛附近及び日方港に倉庫並に事務所を建設し倉庫業の傍ら運送業を營み兼て山林產物の委託販賣をなす筈にて十一月中には設立の豫定なりと

灘清酒昂騰

去月上旬三斗入十駄八百圓內外にて取引されたる灘清酒の相場は其後何等…の取引ありし譯なりしも…に至りて目下九百圓を唱ふに至りたり自然思惑的の取引はなきも必要に迫られる向きは八百七十圓位にて取引し居れるが殊に地方向きのもの最も騰貴し小賣値段も大々値上して四斗樽一挺五十七八圓一升壜二圓に值上せるも尙ほ一段の氣配を見るべき模樣なり

帶地の好況

近年になき賣行き

多物取引は既に一順終了し早きは第二回仕入に入落せる地方商人もありて賣行旺盛なるは未曾有と云ふを得べく地方に於ける今日までの賣行良好に鑑み第二回の仕入は前回より多數の仕入をなす向あり一方製品は繻子の如き不需要期の爲め稍軟弱の氣配を示せしも一時的現象にて依然品薄なるは以前の高値に復し博多織の如きは昂騰素晴らしく殊に昨今生絲相場の奔騰に一層配氣硬化せしめ本月中に冬物取引を了れば例年二月頃より開始する春物の取引も引續き來月頃より開始せられんかの盛況を呈し居れり(大阪)

製針業の不振

產額四分の一に減ず

製針業は廣島を本場として大阪高岡市其他各地に製造業者ありて戰時中盛んに製品を海外に輸出し巨利を博せしも粗製品の少からざるは漸次聲價を失墜せしと戰後支那排日熱等に本年の輸出額は頓る減退し製作工場を休止せるもの少からずして其產額も盛況當時の四分の一內外に過ぎずと(大阪)

金剛電鐵好況

朝鮮銀行にて申込みを取扱ひたる金剛山電氣鐵道會社の株式は七日締切…

棉作打合會

廿八日より三日間金山府廳會議室に於て慶南各郡の棉作組合打合會を開く筈である(釜山)…廿六日迄に…を示した(南浦)

金泉青年會發會

金泉青年會發會式は五日金泉小學校で開催會則の附議來賓の講演あり來會者二百餘名金泉青年會の萬歲を三唱し頗る盛會であつた(金泉)

鎭南浦米商組合

鎭南浦米穀商組合では七日商業會議所樓上にて役員會を開催組合の會計係員及び仲介人を選定し次いで評議會を取引開始期日に仲介人の職務規定等の決定をなした(鎭南浦)

旱害と南滿秋作

本年夏の旱魃の爲南滿洲の秋作は一般に豫想はれたが思つた程でない(開原)

開原電話架設

開原現在の既設電話個數は一般用約二百個此他取引所架設の直通電話ありて取引商人には左程の不便が無いとしても近時商工業の發達は現在の電話數を以て足りとせず架設申込續出せるが當局に於ても能ふ限りの綏和策を講じて居る十一月中旬迄電話機納入の筈であるから遲くも十一月中には新に架設さるべしされど本年度の架設數は六十六個で此外線の取付準備中である

京管客車改造

京管局…にては客車改造計畫中なるが龍山本工場配當の寢臺付一等客車四輛改造中二等合寢臺車二輛は三日竣成したるが右は乘客員一等十二名二等十六名な…

…惡くないしかし良好とは無論言へない本年は普通農作物は減收にてある高粱包米は平年作の六七分作である尤も豆は高粱包米より好いのは熟期が早かつたからである大豆は餘程豫想かつたと云ふ(開原)

東洋捕鯨と成績

東洋捕鯨會社は昨今漸く冬季的活動の時季に入れるか本月一日より開始せる朝鮮東海は風浪高き爲め未だ一頭も捕獲せず其他の方面に於ては續々其成績を下關支店に通知せるが客月廿九日迄の頭數は陸前鮎川四十頭同釜石五頭北海道根室十三頭同室蘭一頭千島單冠二十六頭同紗古丹十八頭對馬比田勝七頭合計百十頭なり(下關)

綿糸の生產高

日本全國紡績會社の綿糸生產高は右十六手一萬六千八百五十四梱左二十手四萬六千四百五十四梱其他九萬八千九十四梱計十六萬一千四百二梱にて前月に比し九千二百六梱前年同期に比し一萬二千二百三十五梱の増加なり(大阪)

人事消息

▲松崎時勉氏 七日夜來釜八日朝發連絡船にて內地に向ふ(釜山特電)

▲竹山純平氏(第一銀行員) 八日夜釜山上陸十二時發列車にて北行(釜山特電)

▲町野中佐 滿洲より歸途八日夜入城朝鮮ホテルへ

▲矢野久三郞氏(平壤營林廠長) 八日夜入城龍尾へ

▲高野省三氏(三井支店長) 過般天津三井物產支店長に轉ぜる氏は南支視察より此程歸來三四日中一先づ東上し本社と事務打合の上廿日頃京城歸着し未家族帶同新任地天津に向け出發の豫定

鳥瞰錄

▲勝つた揉んだの上面りなりにも何うやら勞働代表は決定したらしい▲が男子の方は之れで好いとしても茲に一つ又々厄介な問題が起つた▲と云ふのは豫定通りとすれば國際勞働會議は今月の二十九日だが其より一週間以前卽ち二十三日に華盛頓で產業婦人世界大會が開かれる▲主催者は合衆國婦人勞働聯盟で今回新に米國勞務省婦人局長になつたアレゾン孃の名で世界三十四箇國の勞働團體へ婦人勞働者の出席を乞ふ旨の招待狀が發せられた▲無論日本も此の中に加へられて居るが代表者の數は各國十名で一名一票の投票權がある筈である▲問題と云ふのは之れだ第一日本から有資格の是れ丈けの婦人勞働者を出せるか如うかである▲代表お供の女子顧問先生が差し當り列席する事になるか知らぬが之ではイヤ早心細いものだ▲何時も後手を打つて騷ぎ廻るのは餘り見つともない事は更に何笑ひものにならねば好が

書記長打合終了

既報の如く全鮮商業會議所聯合會は九日より十一日迄京城商業會議所に於て開催さるべく右に就き七八兩日の各地商業會議所書記長會議に於て提出議案の整理及び事務の打合せを了したるは十三日より十五日迄滿洲商業會議所聯合會を催すべく滿洲側よりは大連營口奉天安東の四會議所より夫々代表者出席の旨通告ありたりと

龍山局受拂

龍山郵便局所に就き九月分爲替貯金受拂數左の如し爲替受入口數三千二百金額五千四百圓、同じく拂渡口數二千八百金額四萬七千八百圓貯金預入口數三千九百餘金額六萬九千六百圓同じく拂戾口數千八百金額六萬二千圓振替貯金拂込口數千三百餘金額一萬千五百圓同じく拂渡口數百四十九金額二萬六百圓なり

青邱俱樂部發會式

總督府出入新聞通信雜誌記者團は今回俱樂部を組織すること〻なり其發會式を七日午後六時初音町明月館に開催し俱樂部規則を制定せるが會するもの十三名午後十一時盛況裡に散會せり

有樂町より 東京支局

▲以前朝鮮に生じた事件に對する啓告文を各新聞に發表して無法な騷擾運動を戒めた洪檢約君は其後朝鮮から滿洲上海へ遊んで又入京した▲同君の話によると或一派は列國の干涉を東洋に起させる事を目的として上海に或る事を目論見つゝあるさうだ『そんなことが成就するものでもなしまた若しそんなことになれば却て其結果が悔悟したら自滅あるばかりだといふことを悟らない彼等は實に憐む可きものです』と憤慨して居た▲自分で實力を備へなければならない他力で事をしやうとするのは間違ひだ先づ實力を養へ實力の無い口舌は畢竟無駄なことだといふのが君の持論ださうで先般大阪へ商用で行つた時訪問して來た朝鮮の青年が徹底しない理屈ばかり並立てるので茶をひつかけて追ひ返してやつたさうだ

大阪株式

(電話…)

商船	一七一、〇〇	
新	一四八、一〇〇	
鐘紡	三八七、〇〇	
同新	三三四、九〇	

下關期米特電

●八日後場 (保合) 夏氣も傾暗…

謹啓 小生儀今般三井合名會社朝鮮農林事務所生產ニ係ル薪炭ノ販賣方ヲ引請申候ニ就テハ誠意奮勵以テ日頃ノ御愛顧ニ報シ度何卒格別ノ御用命伏テ奉願上候 敬白
三井合名會社朝鮮農林事務所薪炭一手販賣人
京城漢江通り一三番
今關忠一
電話五三五

實業之日本 本年秋季倍大號
能力主義宣傳號
(我社の抱懷せる)能力主義の新目標に依りて改造宣傳
能力主義とは何 杉森孝次郞
能力的新人論 內藤民治
潛在能力實現 秋田雨雀
國民能力總動員 室伏高信
各人能力の發揮 增田義一
舊文明の最後の狂 鷲尾浩
思想の無政府狀態 田中王堂
官僚外交大弊 信夫淳平
官僚秘密打破 永井柳太郞
改造後の世界的人格 石田新太郞
現代制度の大改造 桑木嚴翼
日常生活の根本改造 田川大吉郞
保守的沒常識 安部磯雄
官僚の階級思想打破
能力主義の教育 野口援太郞
婦人解放能力總動員 與謝野晶子
飢ゑ瘦せた存在 松村松年
英國の改造諸施設 太田三郞
學術研究會新設 櫻井錠二
我海運界の死活 大島小太郞
我生產能力增進策 黑沢西藏
我機械工業の振興策 小西次郞
我工業增進十提案 鶴見左吉雄
對外宣傳局急設必要 渡邊文藏 (外)
發行の趣旨 能力主義は何ぞ…之が一大自覺たり…
新社會に大改造を要求する能力主義は…
定價金四十錢 郵稅二錢
東京 實業之日本社

國民法律 質問隨意
日常法律顧問 實際問題 判決例 學說 評論 一目瞭然 年極前金… 質問鑑定隨意 一年分郵稅共 壹圓一部十錢
第十卷第十號 (十月號) 號百六十
東京京橋區…京橋三一四 國民法律社

新式教育カード 特約販賣店募集
各學校へは御希望に依り參考品として一組寄贈仕候
尋常小學讀本漢字カード(一名漢字カルタ)
面白く漢字を覺え巧に活用が出來て飽きない 新競技玩具
定價表
一學年二學年 五拾七錢
三學年四學年 五拾四錢
五學年六學年 五拾錢
特約販賣の詳細は御照會次第割引表と共に御回答申上候
京都市醍ヶ井通四條南入 發行所 修文館本舖
振替東京二七一六五番 大阪二六二九六番 電話下一七八六番

京城ニ自動車講習所開設
十月十五日開始 二ケ月二卒業
…自動車…講習… 全學費金百三十圓…
規則書 …
東京自動車學校
京城講習所
京城府黃金町三丁目
振替口座京城七一一八番

KAZEPIRIN 熱 風 風引には 大學病院 撰 範方劑 本舖 淺野泰天堂藥房 鮮滿 無量の特約店に販賣す

馬の群れ

馬事思想の宣傳（二）

蘭谷牧場を視察して

洗浦驛より蘭谷牧馬場まで

呂地師團副官の談

四日午前六時起床待ち兼ねて室外に出で遠近を展望した蘭谷の牧場と稱するのは實に

東西約二里 南北約半里の平野で四面の山は小丘大山相重なり天空に描ける曲線美は得云へぬ。加ふるに青々した松林の間には紅葉點綴し原の中には川巾廣くはないが清冽な水が碧に秋の空を抱いて流れてゐる宛ら水彩畫のやうだ。聞く所に依れば僅に三里を隔てたる洗浦驛の平地に比し冬季は

約五度暖く 且つ氣流よく泡に適當だとの事である牧場事務所に添ひ二三十頭を入るべき廐舍が四五軒、其他倉庫が數軒、猶本年中に完成すべき建築物が數箇所に工事中である職員官舍は廐舍より二三丁位を隔てゝ大小五六軒集團してゐる職員は男爵正方氏が場主任として外に三名あり其他內鮮人數十人を使役してゐる平時の執務時間は午前七時

鐘を合圖に 全員出勤午後五時迄及ぶ事を通じて約十時間執つて居る、普通官廳の執務に比しては非常な勉強である收容する馬匹は內地產種牡馬三頭同牝馬二頭蒙古產牝馬五十六頭其他七八年度に生產せる仔馬二十七頭合計八十八頭である、當日午前半日見學した其の順序方法は次の如くである

（一）在廐馬約半數に付き一頭毎に引き出して

馬體の檢查 及び其服從の說明を受けた此時仔馬は總て母馬に附添うて前進するので最も可愛ゆく感じた特に面白いのは母馬は概して四尺二三寸であり父馬は五尺一二寸であるから約一尺の差あり仔馬は父に似て當歲（一歲）でありながら殆んど母馬と同一の丈である事だ、立つて居て乳を飲むのには首を曲げ、辛うじて乳房に吸付く樣は興味一入である。種牡馬は云ふ迄もなく外貌體質共に駿馬である其價も亦

數千圓の者 のみだが蒙古牝馬は滿洲鄭家屯にて購買せるものであつて價は八九十圓に牽運費五十圓を要し居るとの事である此度新に咸鏡北道雄基に牧馬場が出來る事になつて目下工事中であるが內地より其處へ送る種牡馬五六頭も一時此牧場に預られてゐる一見したが之も相當の駿馬であつた。

仲秋祭

鮮人街の閉戸で 多少脅かされた

八日の朝は鐘路附近其他の鮮人部落では多少門戸を閉鎖してゐたので又商店の閉鎖かと御立派働なぞに結び付けて考へる人もあるが今日は朝鮮の舊習で仲秋祭に相當し一家眷屬して祖先を祀る日である爲め門戸を閉したのであるとか鮮人中には一家相携へて野に出で宴を催し御馳走を並べて秋晴の下で野遊びをしてゐるものも澤山あつた

常盤線不通

常磐線小木津驛附近土砂崩潰の爲め列車不通となれり（東京電報）

潜艦來！潜艦來！

見よ此勇姿を

盛なりし本社主催第一日

觀衆幾萬祭禮の樣な賑ひ

秋の陽は和かい光りを天地に投げて恰も春かと思はれる天候、月尾島、小月尾島、砂島などは靜かに眠るやうに波間に浮いて油色した築港內の海面、岸壁に添うた既定の位置には戰利潜水艦第五號第零七號の二隻が不思議な暗示でも與へさうな

怪異な姿 を横たへて繫留し其隣には幾多の戰歷を有する母艦夕響が儼然と錨を投じて居る、待ちに待つた潜艦の來訪を受けた仁川市街は近來稀な賑ひを呈し府廳警察其他關係者は疾くから諸種の準備に忙殺された甲斐あつて

第一日の 八日には早朝から整然として配置の下に一般の觀覽者の來場を待受けた、本社主催の觀覽團體は仮峴驛に下車し仁川小學校前を穴門に道を取り順路目的の築港に向つたが、第一第二臨時の各列車共南大門發車の時から

既に滿員 であつたのに龍山驛から軍司令部師團等の將校衛兵卒連の一隊並に同方面多數の觀衆を加へ更に途中驛から數多くの本紙愛讀者を收容したので列車は爪も立たぬやうな大入り、仮峴驛から吐き出される觀員は毎列車無慮七八百名、軽裝の男子中に交る

婦人の優 姿も少くなく、折柄の朝鮮千閭紀會の事とて鮮人觀客頗る多く內鮮人殆んど同數位の割合で美々しく著飾つた妓生連さへ加はつて居る、其一隊が長く緩やかな行列を造つて吸込まれるやうに入り行く築港

第二通用 門の表には消路の兩側に今日を當込みの風船賣りや栗柿菓子の屋臺店まで五六軒宛然村落の

祭禮の樣 な賑はひである、潜艦繫留の岩壁橫手の空地には府廳警察其他係員詰所、救護所、陸海軍人初め其他休憩所の天幕が微な海風に波を打ち本社休憩所五箇所には本社並に每日申報社旗が飜くやうに飜つて居た

人目を驚ろかす艦內

觀衆は只アツと言ふ許り 思ひ遣れる乘組員の勞苦

潜艦觀覽は午前八時から開始されたが其前から雲霞の如く潜艦を見下す岸壁に寄り集つた群衆は不思議な姿の潜艦が鯨に似て居るの糸瓜のやうだの樣々な批評を下して居たが艦上高く揭げられた

旭の國旗 の輝くを見て誰もが歡喜に堪へぬ面色で司令塔上に聳ふる展望鏡、艦全體を浴びた海の名殘り、艦腹の鐵板に青い海苔の粘いて居る等は少からず觀衆の興味を唆つたやうであつた、定刻八時入口の繩りが解れると潮のやうに

雪崩れ込 む群衆は我れ先にと危い岸壁を傳ふて押し寄せ下駄穿きで係員に注意され狼狽て下駄を懷に捻込む者帽子を飛ばす者袖を摺る者鬱しい雜沓を係員に制止されて凡そ三十名位を一團として順次に入艦させ

乘組員が 案內しながら叮嚀な說明を試みる、甲板上で先づ第一に目につくのは長さ二三間位の鋸之れは敵の防禦網を切り破る爲めの物、次は無線電信用の二本のマスト、眼玉の樣に光つて居る潜望鏡、機雷を敷設する孔やタンク、兩側に一門宛備へた

魚雷發射 管、水を入れて船を沈める主水函及び其補水函、艦位の上合を正す釣合水函や燃料調整水函等が現はれて居る、十珊の大砲一門は艦首に備へられて居るが卒さいふ要令には之ぞ司令塔だけ殘り他は皆引込めて了ふとの事

艦內への 昇降口は都合三ケ所あるが何の口も極狹い漸く人の出入の出來る位の大きさしかないのを逆落しに金梯子を傳つて艦內へ降ると水雷室、司令室、兵員室、汽罐室、電動機室、制管室、補器室等が劃んで居る狹い

三尺幅位 の通路の周圍は全部機械で包まれて上下左右何れを見ても精巧な器具氣管で充滿し宛然動物の腸の中を通るやう、其間に電燈が燈つて稍暖い空氣は頭腦に軫々と痛みを覺えさせる、床と云つても漸く身を屈めて入るだけのもの便所も

炊事場も 其中に設けられ火藥庫彈丸庫無線電信から電設まで有のだから身を窄めて人の步行が漸くである、艦乘組員の勞苦は嘸かし同情されて說明を聽き乍ら團員は熱々と嘆息して居た。倦くて順次に觀衆は交替したが

說明者は 休む間もなく熱心に案內して居たのは奈何に職務とは言ひながら感謝の外なく一同滿足の意を表し新しい智識を得た喜びに充され乍ら三々伍々歸途に着いた。九日からは婦人子供の觀覽も許す筈である

京城神社大祭

旬日後に迫る

各町洞に素晴らしい意氣込

好景氣が手傳つて 餘興の前景氣熾也

京城神社の恒例である秋季大祭は愈々來る十六、七、八の三日間擧行される筈である大祭に就ては過般氏子惣代に於て大々協議した所年にも倍し賑やかに然も盛大に營む事になつた本年は第一年の大祭でもあり府內氏子は勿論各銀行會社等も非常の意氣込で諸附の相談やら

餘興の心配 に奔走して居る。何しろてある相である秋季大祭の祭典次第は例年に同じく十六日は前夜祭即ち宵宮で十七日が大祭御發輦十八日が御還幸と云ふ日取である。鮮銀東拓殖產の三銀行から花火の寄贈があり滿鐵からも花火寄贈があつたので祭禮の三日は此等の壯麗な花火が打上げて京龍全市の秋空に紅に躍らの

壯觀を呈す る筈である。更に祭禮の四日間は社內さ御神幸龍山御旅所とも盛大な祭典があり人宮角力と神樂仁輪加の奉納があり市中も高張提灯及び銘旗は例年通り賑々しく宵宮に各町洞から神輿境內に繰込むのである十七日は午前八時から大祭典を執行し齋藤總督以下官民多數の參拜があり午前十時御神輿が神殿を出て御旅所に向はれ十八日は午後五時三十分御還幸相成つて祭典を終るのである。何しろ

景氣が好い のと平和第一年だと云ふので此物價騰貴にも係はらず各町洞の意氣込は素晴らしいもので寄贈の花火などは恐らく朝鮮としては未曾有の氣張りやうだと云ひて龍山の彌生町の神輿が十七日には南大門前まで出迎へる筈である又各町では假裝行列をやらうとかで人々が

奇拔な計畫 で當日はアッと云はせるらしい。京城の方は龍山に劣らず非常のもので料理屋組合や藝妓組合は躍屋を造ると云ふし妓生は總出で行列をして神幸に從ふとか黃金町二丁目は偉大な太鼓の人形を造ると云ふ此外、本町、旭町、南山町、明治町、新町、等でも大々計畫をなしてゐるが

未だ大概漏 らさずと云つた風で計畫の發表をしてないが兎も角非常に盛大な催しが各町洞毎に催される筈であるが猶御巡幸の順路に就いては各年と變つた點もあるから追つて發表をする。

市民擧つて お祭氣分に 浸るが佳い

氏子惣代は大祭に就いて語る

「今度の大祭は京城神社の祭禮だと云ふのでなく內鮮國民全般が國祖を奉祀する日である、從つて軒に提灯を吊り神社に參詣するばかりでなく心から御祭りをせねばならぬ例へば大祭中は各家庭に祖先を祀り小さな飯なり甘酒なりを作つて心だけも祭禮氣分に浸る事が是非必要である由來我が國では神を祭る事が即ち政事であつたのであるから此祖先を奉祀すると云ふ事は是非忘れてはならない殊に本年上外にゐる者などには最も大切な事である朝鮮の人達も帝國の國祖を祀ると同時に祖先を奉祀する事を是非やらなければならない要するに眞心から祭禮を行つて欲しいのである」

八日は恰も陰曆八月十五日の中秋祭に當り例年京城市內にても數十戸の休業者ありたるが本年は本町鍾路兩署內を通じて休業者極めて僅少なりしが最近四圍の情勢に鑑み本町鍾路兩署が嚴に編成せる警備隊をして市中を巡邏せしめ小銃隊巡查を配置するなど戒嚴々しかりしが一般に平穩無事なりき

海軍大講演會開催

舊獨潜水艦仁川入港を期とし海軍思想普及の爲本社は特に乞ふて左の講演會を開催し一般諸君の來聽を歡迎す

一 時日　十月九、十兩日午後四時半開會

一 場所　若草町西本願寺

一 演題　歐洲戰亂に於ける帝國海軍の作戰（講演者派遣將校鎭海灣要港部參謀矢持海軍大尉）

一 同　潜水艦に對する一般講演（講演者乘組將校福田海軍大尉）

主催　京城日報社　每日申報社

孫一味は從順

能く獄則を守る

八百餘名の連名も頗る穩か

孫秉熙一味並に騷擾事件に連坐し西大門監獄に收容せられたる者等が其後の動靜を聞くに入監當時は何れも騷然として喧噪を極めし不逞の徒は屢々突如不穩の擧に出で爲めに監內各種の勞役は一時漸く中止の有樣なりしが這は漸次鎭穩に歸し今日にては既決未決を問はず至極平靜に復し勞役又支障なきに至れり目下所謂騷擾事件の爲め收監中の者八百八十餘名內女子二十一名あり彼等孫秉熙等一味の者等も今や漸く身神平靜に復したるにや頗る從順となり能く獄則を守りつゝありと云ふ

本日の大講演會

帝國海軍は大戰亂中如何なる活動をなせしや、潜水艦は如何なる威力を有するか、日海軍將校の特別講演は來れ午後三時西本願寺へ

別記の如く本社にては舊獨逸潜水艦の仁川入港を期として海軍思想普及の爲今九日及び明十日の兩日午後四時より若草町西本願寺に於て海軍大講演會を開催する事となりたるが海軍側に於ても多忙中特に本社の乞ひを容れられ派遣將校鎭海灣要港部參謀矢持大尉は歐洲大戰亂に際し我海軍の未曾有の大活動に就て未だ一般に知れ居られざる作戰其他の講演ある筈なるが這は即ち我海軍の世界的活躍を語るものにして帝國海軍の權威が如何に發揮せられたるかを察知するに足るべく又國民として洵に聽かんと欲する處なるべし講演者福田大尉は嘗て七號艇乘組將校にして同氏は特に潜水艇に對して夙に獨特の研究を積みたる人にして喜んで本社の乞ひを容れられ充分なる講演をなすべきを約されたれば當日の講演會は最も興味あり最も有益なるは言を俟たず必ず盛會を呈すべければ來聽者は開會時刻午後三時に遲れざる樣參會せられたし

京畿道の虎疫は稍小康

累計百五十二名　開城も終息の形

京畿道管內に於ける虎列拉流行狀態は稍小康を得たるの觀あり一時猖獗を極めたる開城邑內は其後新發生なく其他も同樣の狀態なるが只開城郡青郊面のみは五日二名六日四名の新患者あり管內を通じ初發以來の累計は百五十三名にして內死亡百六名全治二十名現在患者二十七名なりと

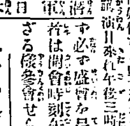
○工專生慶州行　京城工業專門學校建築科三年生は五日夜根田教授引率の許に朝鮮古代建築美術研究の爲め新羅王朝古跡として有名なる慶州佛國寺へ實測に赴けり

キッコーマン

宮內省御用達

野田醬油株式會社

千葉縣野田町


愛用者諸より夫から夫へと擴まった

品質は其の愛用者により證明された

エグロン石鹸

本舖 內外興業株式會社

納店 夏川京城支店

▲七十三回 新債券 二千圓廿本付一通十圓拾錢 一口十錢有價券買値段 税一號次第に御送付申上候

申込所は及外債募集（十方在住）大藏大臣免許 御希望御照會を乞ふ（但し割賦にても差支なし）

大藏大臣免許 大濱田債券株式會社

東京市京橋區南町（永代橋通）　電話特長本橋三一壹壹番　振替口座東京三二〇四番

致富秘訣 金を殖やす法（無代進呈）

世の中に金を殖やす法はいろ〳〵あるが、その原則に適つて居なければ何れも極めて…[illegible]

京日案內

小野 專門分工場 京城蓬萊町一丁目 …[illegible]

店員入用 安藤…[illegible]

乳母入用 京城太平通二丁目 更科支店

店員入用 龍山…通八 島田忠…[illegible]

コレラ豫防藥 クレオソート丸 京城旭町一 淺野…[illegible]

御袴專門 京城本町四 山崎袴店

店員入用 京城明治町二丁目 木村…[illegible]

記帳係入用 京城南大門通三丁目 松原…[illegible]

勤社員入用 京城黃金町一ノ八五 帝國生命保險會社京城支店

毛皮なめし 京城本町二 …[illegible]

みだれ咲き

第百六十八回 島山碧波作 森田久畫

龍雄に片袖を掴まれたお蓮は面目無さに頭を垂てしまつた

『龍雄さん、其の方は姉さんの爲めには生命の恩人で、然かも山中家を蔽ふ黒い雲を一掃して下さる方ですから滅多な眞似をしては不可ません』

初江夫人が言葉鋭く注意を與へると、老伯からお蓮の事までは注意を受て居無い龍雄は呆氣に取られながら其處に佇立み。

『でも此の婦人は僕が朝鮮へ行かうとした時……』

龍雄は渡鮮しやうとした當時のことを語らうとした、すると傍て二人の前へ來た伊代が

『若樣、是れにはいろ〳〵仔細のあることで御座います、委しいことは後で伺りますからどうぞ此のまゝ』

『あゝ左樣ですか』

姉の爲めに生命の恩人と云ひ山中家を蔽ふ黒い雲を掃ふ婦人と聽くと、龍雄は其のまゝ手を退いてお蓮の横顔を眺めた。

『どうぞ此方へ』

知つて居る父の居間、初江夫人は松川執事の案内を受けて入つて行つた。

『おう……』

此處まで來ると、待ち詫て居たらしい老伯は、突然初江の手を執つた、自ら起つて來て我が娘の手を執つた。

『お父樣……』

『お祖父樣……』

初江夫人が、つゝましやかに頭を垂れると、操子は老伯の手を堅く握つて其の面を仰いだ。

『おう操子か、馬鹿に苦勞をしたのう、然しモウお前達が樂い平和な日を送られるのも餘り遠くは無いから安心しなさい』と、云つてお伊代の方に向ひ

『お伊代さん、不思議な御縁でいろいろお世話になります、先刻の電話で儂は決心しましたのじや、冷い世間は子に甘い親と思ふじやらうが、山中家の急を救い、子爵の覺醒を促すには斯うして一同を引取た上で無くばどうすることも出來ん、彼れ等に恐しい企てがあるのに郎の外に置いたらどんな災難に逢ふか判らんからのう』

『御尤でございます』と、答へたお伊代は、其處に兩手を突て居る次郎吉親子に向ひ。

『御前樣です、御挨拶をなさいまし』と、云つて伯爵に向ひ。

『御前樣、此の兩名が先刻お話を致しました佐藤親子でございます』

老伯默して首肯いた後。

『あゝ左樣ですか』

親子が何か云はうとすると。

『モウ何も仰しやらんでも宜しい、佐藤さん自己の非を覺つて悔悟したとは見上げたお方じや、夫ばかりか娘さんが生命を賭して孫を救つて下さつたことは感心お禮をする』

『恐れ入ります』

次郎吉親子は反つて面目を施した、委細を聽いた龍雄も始めて總ての樣子を知り、今更ながら奇しき運命の二字に驚くのであつた。

『彼この事に就ては儂も種々と考へて居るが、貴女の御決心を遂行して下さるかな』

老伯は改めてお蓮に訊した。

『ハイ、私の覺悟は伊代本のお女將さんに申し上げた通りで御座います』

『あゝ左樣ですか』

老伯は屹と一同を見廻し。

『操子も龍雄も此の御婦人に對して厚く禮を云ひなさい、山中家の運命は、此の婦人一人の爲めに左右されるらしい』時と場合に依つてはお母ア樣も再び戻れるやうになるのじや』

厳かに云ひ渡すを聽いてゐたお蓮は。

『私のやうな者を犬程に』

彼の女は老伯の言葉に感動して益決心を堅めた、夜は次第に更けて芝山内から曉の鐘聲が近づいて來た。

懸賞川柳(六) 劍花坊先生選

秋の風

ひよつとこの子供も秋の風が吹く 京城 一丸
風鈴をやかましがらず秋の風 京城 春郎
秋の風父米の値の騰る記事 京城 茂月
しんねこの羅をなぶる秋の風 京城 張子
秋の風仁王の胸毛そよぐやう 京城 翁
秋の風親父の酒が長くなり 京城 土呂
秋の風下宿で詩集繙かせ 京城 平田生
秋風が立つてくやしい身重なり

京日紙上俳句會 =出句發表=

▲砧▼

九八四 鍵のみだれ颱風の襲ふ砧哉
九八五 砧いら〳〵し人妻を戀ふる秋や
九八六 悲みの甦ゆる音や小夜砧
九八七 山寺の鐘よりつゞく砧かな
九八八 市人の引け靜まつて砧かな
九八九 醉官の靴音とのみ砧かな
九九〇 遠砧雨招ぶ淵き月夜かな
九九一 受取つて左に生めり小夜砧
九九二 砧打つ娘も親くあるじかな
九九三 貞操の妻のたしなむ砧哉
九九四 砧うつ音かすかなり夢うつつ
九九五 相嫉む隣同士の砧かな
九九六 淋しさの秋に打ち勝つ砧かな
九九七 それとなく手眞似するなり遠砧
九九八 閨非の手を暫しやめては聞く砧
九九九 對岸の孤家の砧や秋月夜
一〇〇〇 秋の夜を砧の音もふけにけり
一〇〇一 强い言葉が途切られて遠砧
一〇〇二 怠けた俺の胸に砧がひゞく
一〇〇三 小夜砧怨の程も打つなめり
一〇〇四 沖瀨氣に雅七浦の砧哉
一〇〇五 陽落つればすぐ來る、野や砧打つ
一〇〇六 大樹一株にかくれて村や夜砧
一〇〇七 亡き妻と語る思ひや遠砧
一〇〇八 有情の月に無情を打つ砧
一〇〇九 高麗旅のともすれば悲し遠砧
一〇一〇 村治偲ぶ砧拍子や旅にして
一〇一一 砧の座石に夜の冷え忍びけり

わた 旭商會 京城北米倉町

一〇一二 打ち交す砧に嫉き姑かな
一〇一三 冬告げし蟲默したる砧かな
一〇一四 夜更け行けば砧亂れて鉢叩き
一〇一五 妄き戀のうつつに更けて遠砧
一〇一六 小夜砧亂るる胸に響きけり
一〇一七 月落ちて李村朴村砧哉
一〇一八 峠越えて里に砧の遠音哉
一〇一九 砧の音搾乳の夢やまごろ哉
一〇二〇 旅人の眼はうるみぬ砧きく
一〇二一 宵闇の土手を瀬越に砧かな
一〇二二 皇威陸睦鷄林の砧感深し
一〇二三 小夜砧宋家に秘めし世捨人
一〇三〇 母子四手打上て笑む砧かな
一〇三一 鍬山暮れて澄靜かなる砧哉
一〇三二 溫突の灯し小暗き砧かな
一〇三三 公園や後ろに砧の村ありき
一〇三四 牧馬の高鳴き止みて更ける砧哉
一〇三五 砧打つ側に翁の繩仕事
一〇三六 姑に氣も合槌の砧かな
一〇三七 秋の夜は砧の音や蟲の聲
一〇三八 弱すゝりし秋の山寺や遠砧
一〇三九 元代々の佛間に砧響かな
一〇四〇 鈍物と傳はる砧背磁かな
一〇四一 民の世は月も隙なき砧かな
一〇四二 水底に月は流るる砧かな
一〇四三 疲れ身の草庭を破る砧の音
一〇四四 砧の打つ砧をたどる旅の僧
一〇四五 思ひなき身にも一入砧かな
一〇四六 賜りし御衣や砧に打擲む
一〇四七 戀ゆゑの合圖なるかも打つ砧
一〇四八 砧打つ音や丘樓に醉さめて
一〇四九 水蒸氣消ゆざる午後の砧哉
一〇五〇 砧打つや向ふの町も宴町
一〇五一 古鄕の夢と消ゆたる遠砧
一〇五二 砧聞くや波を枕に芦の舟

人参キャラメルは 安全優美高尚滋養に富む ミルクチョコレート

一〇五三 小夜砧岩間をくぐる月今宵
一〇五四 夜ふけて人家を知れる砧かな
一〇五五 砧打つや子を持つて知る親の恩
一〇五六 眼さむれば衣うちてあり母の影
一〇五七 兒も無事と文かきて後うつ砧
一〇五八 山里の晩破る砧かな
一〇五九 ハタと止む母が添乳の砧哉
一〇六〇 興亡を知らで打つなる砧哉
一〇六一 模範村に貯金奨あり宵砧
一〇六二 踏み紛ひ辿る砧や路しるべ
一〇六三 時鳥鳴かで聞ゆる砧かな
一〇六四 月赤き川上の霧や砧澄む
一〇六五 放浪ひて月に恥かし小夜砧
一〇六六 泣く子に手を貸しぬ小夜砧
一〇六七 谷川を渡りて御堂に砧かな
一〇六八 村淋しコンコラコンの暮れ砧
一〇六九 村百戸川を隔てて砧かな
一〇七〇 嘆き絶へて心伸びたる砧哉
一〇七一 家六戸砧一つの在所かな
一〇七二 俳人の夢破らるゝ砧かな
一〇七三 遠闇に卵なく聞ゆ砧哉
一〇七四 砧打つ夜のあかるさや屋根なれ
一〇七五 山くろくおちつき砧響きけり
一〇七六 星の夜の森のまろさに打つ砧
一〇七七 砧打つやみどり子の寢顔の眞顔
一〇七八 砧すや一庭占めて二夫婦
一〇七九 起居馴れぬ身に溫突や小夜砧
一〇八〇 朝草刈り谿底に聞ゆ水砧
一〇八一 溫泉の戻り山月を冴つ砧冴ゆ
一〇八二 砧聽く此川に沿ひ行くべし
一〇八三 砧の音うれしく石塀によりそひ
一〇八四 江の闇へ投げ捨てる宿の砧かな
一〇八五 砧大く妄動の沙汰知らぬ島
一〇八六 母よつれ〴〵の一夜砧す我衣
一〇八七 砧打たうとする手の皺を見る
一〇八八 ふと醒めて砧の音や夜は靜か
一〇八九 秋更けて夜毎の砧冴ゆる渡る
一〇九〇 暮れかゝる旅路もの憂し遠砧
一〇九一 小夜砧村一ぱいの眞さかな
一〇九二 不圖母を思ひ出しぬ砧きく
一〇九三 初渡鮮妹は不思議に砧きく
一〇九四 子は兵に山田守る母小夜砧
一〇九五 高麗野路や趾も壁の遠近に
一〇九六 乳の張りに亡き子思ひつ砧哉
一〇九七 川を隔て二村の砧夜頃なる
一〇九八 水涸れの溪に砧の響きけり
一〇九九 戸に洩るゝ砧灯しや雨に更くる

日報歌壇

秋影

□ 樋 てい(麗山)

隙間吹く風を受けみ向つ山硝子戸越しに眺め居にけり
柿葉の揺れの激しも夕されば空はろ〴〵と鳥鳴き渡る
一人の白衣の人はまみどりの秋菜畑にこゝまりて居し
まみどりの秋菜畑に人の居て見えに隱れしつ甦たけにけり
淋しさに友を勸へど飽き足らぬ心抱きて歸り來る我
待ち佗ぶる人の便りつひになく夜の更け行きていよゝ淋しも過ぎし
白におこせし君の便りなど取り出し讀む淋しき心
弱き子と君はのらせど涙すはわが性なればせん術もなし
久々に夜の街行けばわが影の餘り淋しく俯向き通るも

□ 蓮 村(定州)

底ひ知らぬ淵にも似たり向つ尾の夕日に澄める初秋の空

□ 香原夢穗(群山)

見はるかす遠空の果に茜さし山影も見す蝦野暮れにけり
行き暮れて野川の堤一ぱいに蟲の音を聞く夕星の影

女郎花手折りて行く朝山に鶸の雛子は羽ならし飛ぶ
松山の松の木の間ゆうす白み海はだら見ゆ月さし上り
松山に月滲み消みほの〴〵と木の間ゆ船の灯揺れたり

□ 眞鍋生(京城)

町はづれ草原き野に椅子を出し月に向ひてはれ〴〵と座す
月光を浴びつつ丘に仰ぎ見る空のいづこにも雲あらずけり
月澄める庭木の枝の微かにも靜まらざるを見つむる心

□ 晩山香果(京城)

風たいたみ終日宿にこもり居ればこゝろ〳〵と秋の海鳴る

□ 碧水樓(京城)

朝まだき露しとどなる野路行けばすがし心に物も思はず
遠く見ゆる東の山に出づる日を見つつ悲しむ吾は哀れ

□ 中澤美登利(京城)

姉らしく心いそ〳〵弟に送る手紙の宛名書くかな

□ 津田靜子(京城)

きり〳〵す鳴動かせば其の燭の陰子に映る夜のしづもり

●●●●●草野綺彦氏に一度お目にかゝり度し電話にても宜し電話ならば龍山四百五十八番へ(小葩生)

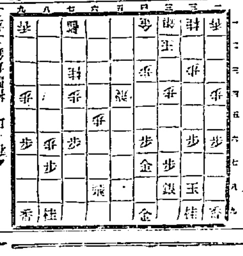
讀者の領分

▲虎疫の爲め龍山下流の漁撈を禁止せらしは無論漢江本流沿岸のみにて龍山の下流にそゝぐ枝流假令へば永登浦附近などの小川は含み居らざる儀と思考す如何(小公望)▲私は海外に出て大いに發展致したいと思ひますが地理に暗くして何處が宜しきや分らず資本は五千乃至一萬圓と兄弟三人居ますが何れの地がよろしきや又南米なり南洋なりの渡航案内書發行所を御知らせ下さい(愛讀者)▲近頃外國映畫にての事を載せられあるが僕は茲に障て堪まらぬ僅問す君は日本人なるか外國人なるか外國人ならば兎に角がめて日本人で有るならば何故日本の映畫が氣に喰ぬか其程日本が嫌なら外國に行かれたら奈何か今頃の人間は泥西洋で有れば良いと思つて一途に崇拜する氣が知れない斯樣な如き分子が社會にウヨ〳〵して居て生意氣に横文字をならべてエラガツて居るのが情なくなる(大和武士)

將棋新手合(三其)

濤呂木六段講評

平手先△(京城)岡本桂二郎(初段)
▲(京城)秋吉富太郎(初段)
(於京城旭町白水館迎將棊會席上)
圖は前號指了迄の局面
△岡本氏 持駒 金歩



△四五金(リ)▲六一飛△六二龍馬▲六六歩(ヌ)△同飛▲六五銀角△六八飛▲八九角△同飛▲七八龍馬▲六七歩△五一龍馬▲同金△五八飛▲五六桂△八二飛▲四二銀打△五六金▲六八歩なる△同飛▲五六龍馬△五七歩(ル)▲六六龍馬△同飛▲同銀(以下次號)

濤呂木六段講評
△(リ)先手方四五金は重し七二龍馬にて指よし
▲(ヌ)後手方六六歩と突き出して以後双方共に良く指したり
△(ル)先手方五七歩打ちは手筋なり

俘虜の解放期

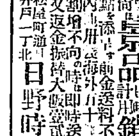
十一月下旬迄には解放さる・既に放後東件に踏み止り獨立して生活を營む途に就く者にて南米に行く者和蘭にとなりしもの約五十名あり

文明的最新調味料

味の素

吸物に味の素 鹽と湯さへあれば即座に味よく拵へられます
酢の物に味の素 酢の物にかけると花鰹より味も體裁もよく
お酒に味の素 苦味辛味を消して灘の生一本程に飲めます
煮物に味の素 を入れゝば鰹節が要い程味がよくなります
寄せ物に味の素 砂糖や鹽で味を附る時少々入れて御覽なさい
和へ物に味の素 和へ物の味附には申分のない味の素
豆腐に味の素 ざせいで燒くにも煮るにも少で味が倍になる
鷄卵に味の素 燒ても煮ても生でも一度入たら忘られません
洋食に味の素 スープやソースの中に入れゝば其風味百倍す
醬油に味の素 さしみの醬油に加れば猶く程風味よろし

永久不變 金側懷中時計



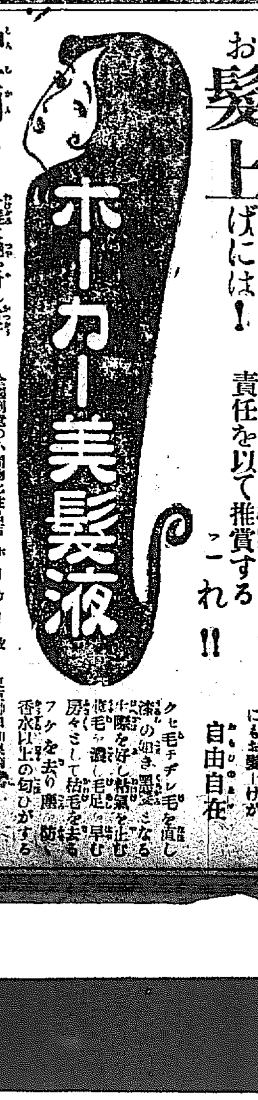
本品は舶來品に劣らず輝きを增し最高級品 特價九圓半 代用時計最新式 付二枚蓋 上等品 側は特種製金を以て製したる金側は永久變色せず 保險付 景品に時計用鎖 附す 小包料不要 交換又返金 大阪松屋町通り二ツ井戸一丁北 日野時計店

眼科專門 金井眼科醫院
京城若草町(總督部通り若新道路中程) 電(一五五六)
新患者隨意◎入院隨意◎日曜祭日午前中

淫羊藿エキス
人參三優る强壯劑
通稱三枝九葉草エキス

効 主 神經衰弱 貧血症 胃腸病 腎臓病 生殖器病 ヒステリー 老衰 精力減退
定價
本劑の服用に依りて貴下の精力は急旺盛となり活動の能力は頓に增すべし
京城特約店 山北 天津島 伯支 堂店
全國一手販賣 日本代理部

初秋のお髪上げには!
東京中の髪結さんが責任を以て推賞するこれ!!



紳士間にも益々大流行
分髪に艶を増し恰好を永持させ床しい香がするので益々大流行を極めて居ります
一度で艶美しき黑髪となり香氣にも上品にもお髪上げが自由自在
クセ毛チヂレ毛を直し漆の如き黑髪となる 生際を好し粘氣を止む 拔毛を遏し毛足の早む 房々さして枯毛を去る フケを去り塵を防ぎ 香水以上の匂ひがする
定價 小瓶二十五錢 大瓶四十錢 送料内地六錢 滿鮮十六錢
注意 全國到處の小間物化粧品店洋品店薬店に有り品切の節は振替又は三錢切手代用直接本舗へ御注文下さい
ホーカー液 ホーカー粉末 ホーカー髪油 ホーカーパッド
東京神田和泉町 柳越本郎商店 振替東京